2025（令和７）年度

共通教育
履修案内

共通教育ホームページはこちら

［１年次の学生用］

この履修案内は，共通教育の履修手続き等に関してお知らせするものです。学生の皆さんは，各学部の履修の手引きにより，共通教育の履修要件等を確認し，この履修案内と共通教育シラバス・共通教育時間割表を参照して，履修計画をたててください。

皆さんと一緒に楽しい学生生活を送りましょう。

山口大学　教育支援センター

2025（令和7）年度 学年暦・行事予定

4 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 入学式	4	5
6	7	8	9 水-1	10 木-1	11 金-1	12
13	14 月-1	15 火-1	16 水-2	17 木-2	18 金-2	19
20	21 月-2	22 火-2	23 水-3	24 木-3	25 金-3	26
27	28 月-3	29	30 火-3			

行事予定

1日（火）～8日（火） 春季休業
3日（木）入学式
9日（水）授業開始
30日（水）火曜日授業の振替

5 月

日	月	火	水	木	金	土
				1 木-4	2 金-4	3
4	5	6	7 水-4	8 月-4	9 火-4	10
11	12 月-5	13 火-5	14 水-5	15 木-5	16 金-5	17
18	19 月-6	20 火-6	21 水-6	22 木-6	23 金-6	24
25	26 月-7	27 火-7	28 水-7	29 木-7	30 金-7	31

行事予定

8日（木）月曜日授業の振替
9日（金）火曜日授業の振替

6 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 月-8	3 火-8	4 水-8	5 木-8	6 金-8	7
8 予備日	9 月-9	10 火-9	11 水-9	12 木-9	13 金-9	14
15	16 月-10	17 火-10	18 水-10	19 木-10	20 金-10	21
22	23 月-11	24 火-11	25 水-11	26 木-11	27 金-11	28
29	30 月-12					
30						

行事予定

1日（日）創立記念日
8日（日）予備日

7 月

日	月	火	水	木	金	土
		1 火-12	2 水-12	3 木-12	4 金-12	5
6	7 月-13	8 火-13	9 水-13	10 木-13	11 金-13	12
13	14 月-14	15 火-14	16 水-14	17 木-14	18 金-14	19
20	21	22 火-15	23 水-15	24 木-15	25 金-15	26
27	28 月-15	29 火-16	30 水-16	31 木-16		

行事予定

8 月

日	月	火	水	木	金	土
					1 金-16	2
3	4 月-16	5 予備日	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

行事予定

1日（金）・4日（月）は授業を行う
5日（火）予備日
6日（水）～9月30日（火） 夏季休業
8日（金） オープンキャンパス（吉田・小串）
9日（土） オープンキャンパス（吉田・常盤・小串）
22日（金） オープンキャンパス（代替日）
23日（土） オープンキャンパス（代替日）
25日（月） オープンキャンパス（代替日）

9 月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26 ※	27
28	29	30				

行事予定

※26日（金）学位記授与式・卒業式（秋季）
大学院入学式（秋季）

10 月

日	月	火	水	木	金	土
			1 水-1	2 木-1	3 金-1	4
5	6 月-1	7 火-1	8 水-2	9 木-2	10 金-2	11
12	13	14 火-2	15 水-3	16 月-2	17 金-3	18
19	20 月-3	21 火-3	22 水-4	23 木-3	24 金-4	25
26	27 月-4	28 火-4	29 水-5	30 木-4	31 金-5	

行事予定

1日（水）後期授業開始
16日（木）月曜日授業の振替

11 月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4 火-5	5 月-5	6 木-5	7 金-6	8
9	10 月-6	11 火-6	12 水-6	13 木-6	14 金-7	15
16	17 月-7	18 火-7	19 水-7	20 木-7	21 金-8	22
23	24	25 火-8	26 水-8	27 木-8	28 月-8	29 予備日
30						

行事予定

5日（水）月曜日授業の振替
28日（金）月曜日授業の振替
29日（土）予備日

12 月

日	月	火	水	木	金	土
	1 月-9	2 火-9	3 水-9	4 木-9	5 金-9	6
7	8 月-10	9 火-10	10 水-10	11 木-10	12 金-10	13
14	15 月-11	16 火-11	17 水-11	18 木-11	19 金-11	20
21	22 月-12	23 火-12	24 水-12	25 木-12	26 金-12	27
28	29	30	31			

行事予定

27日（土）～5日（月） 冬季休業

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6 火-13	7 月-13	8 木-13	9 金-13	10
11	12	13 金-14	14 水-13	15 木-14	16 臨時休業	17
18	19 月-14	20 火-14	21 水-14	22 木-15	23 金-15	24
25	26 月-15	27 火-15	28 水-15	29 木-16	30 金-16	31

行事予定

7日（水）月曜日授業の振替
13日（火）金曜日授業の振替
16日（金）臨時休業（大学入学共通テスト準備）

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 月-16	3 火-16	4 水-16	5 予備日	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24 臨時休業	25 臨時休業	26 臨時休業	27	28

行事予定

5日（木）予備日
24日（火）臨時休業（一般選抜（前期日程）準備）
25日（水）・26日（木）臨時休業（一般選抜（前期日程）実施）

3 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11 臨時休業	12 臨時休業	13 臨時休業	14
15	16 学位記授与式	17	18	19	20	21
22	23	24 ※	25	26	27	28
29	30	31				

行事予定

11日（水）臨時休業（一般選抜（後期日程）準備）
12日（木）・13日（金）臨時休業（一般選抜（後期日程）実施）
16日（月）学位記授与式（博士課程）
※24日（火）大学院修了式・卒業式

入学式　4月　3日（木）
前期授業開始　4月　9日（水）
前期授業終了　8月　5日（火）
授業振替
Q1　4月 30日（水）　火曜日授業
Q1　5月　8日（木）　月曜日授業
Q1　5月　9日（金）　火曜日授業

後期授業開始　10月　1日（水）
後期授業終了　2月　5日（木）
授業振替
Q3　10月 16日（木）　月曜日授業
Q3　11月　5日（水）　月曜日授業
Q3　11月 28日（金）　月曜日授業
Q4　1月　7日（水）　月曜日授業
Q4　1月 13日（火）　金曜日授業

臨時休業等
1月16日（金）
2月24日（火）
2月25日（水）
2月26日（木）
3月11日（水）
3月12日（木）
3月13日（金）

※予備日：「気象事象による災害発生の恐れがある場合の授業及び定期試験の取り扱い」の規定に基づき休講となった授業等の実施に充てる。

… 目　次 …

Ⅰ．はじめに …… 1
1．共通教育履修案内について…… 1
2．共通教育シラバスについて…… 1
3．履修登録の方法…… 1

Ⅱ．共通教育とは …… 2
1．共通教育により身に付ける資質・能力について …… 2
2．共通教育の内容…… 3

Ⅲ．共通教育の仕組み …… 8
1．学期と授業時間…… 8
2．共通教育科目実施の流れ…… 10

Ⅳ．共通教育カリキュラムについて …… 13
1．共通教育カリキュラムとは…… 13
2．科目編成表について…… 14
3．カリキュラムマップについて…… 15
4．単位一覧表について…… 15
5．科目ナンバリングについて…… 16
6．メディア授業について…… 16

Ⅴ．Yu-DXプログラムについて …… 20
1．Yu-DXプログラムとは …… 20
2．Yu-DXプログラムのカリキュラムについて …… 21
3．プログラム受講方法…… 22
4．Yu-DXプログラムの修了証について … 22

Ⅵ．共通教育科目の履修上の注意 …… 23
1．教養コア系列科目の履修について…… 23
2．英語系列科目の履修について…… 25
3．一般教養系列科目の履修について…… 27
4．専門基礎系列　理系基礎分野（数学）のプレースメントテストについて…… 27
5．専門基礎系列　理系基礎分野（実験系授業科目）の履修について…… 28
6．日本語の履修について…… 29
7．教育職員免許状について …… 30
8．教養展開科目について …… 31
9．その他の履修上の注意 …… 32

Ⅶ．共通教育の定期試験について …… 34
1．定期試験について…… 34
2．定期試験の受験上の注意…… 34
3．追試験について…… 35
4．成績について…… 36

Ⅷ．学外における授業科目の履修等について … 38
1．既修得単位の認定について…… 38
2．放送大学の授業科目の履修について…… 38
3．山口県立大学，山口学芸大学，山口芸術短期大学および宇部フロンティア大学の授業科目の履修について…… 38
4．派遣留学先の授業科目の認定について… 38

Ⅸ．共通教育におけるその他の注意点について … 39
1．共通教育に関する諸連絡等について…… 39
2．学生の生成系AI（ChatGPT等）の利用について…… 40
3．気象事象による災害発生の恐れがある場合の授業および定期試験の取り扱いについて …… 41
4．共通教育棟の使用について…… 41
5．共通教育メディア教育棟情報処理演習室の使用について…… 43
6．レポートの剽窃・盗用について…… 43

Ⅹ．山口大学共通教育科目履修規則 …… 44
Ⅺ．相談窓口について …… 48
Ⅻ．共通教育棟配置図 …… 49
●共通教育科目に関するよくある質問について … 53
●修学支援システムの利用方法 …… 54
●Moodleサイトへのアクセスとログイン … 69
●学生のGoogleWorkspaceの利用について … 70
●吉田キャンパス配置図

Ⅰ．はじめに

1　共通教育履修案内について

『共通教育履修案内』は，当該年度入学者の共通教育科目の履修手続に関する情報を記載しています。

この『共通教育履修案内』については，学生のみなさんが卒業するまで使用するものですので，紛失しないように大切に扱ってください。

また，各学部の発行している『履修の手引（要覧）』により，卒業・進級要件を確認し，この冊子と共通教育シラバスや共通教育時間割表を参照して時間割を作成してください。

2　共通教育シラバスについて

共通教育シラバスは，当該年度の各共通教育科目の授業の概要や授業計画，成績判定方法，テキスト等に関する情報を記載しています。シラバスは，「山口大学ホームページ」→「在学生の方」→「教務情報（シラバス）」で見ることができます。

Q：シラバスとは何ですか？

Ａ：　「シラバス」とは，単純に言えば授業の概要が記されたものです。それぞれの授業の詳しい内容や目標，成績判定方法，教科書や参考書，担当教員からのメッセージ等，学生のみなさんが，多くの授業の中から履修する道しるべとなる有益な情報がたくさん盛り込まれています。

『〇〇の授業の内容について，理解が目標に到達したらこの授業は合格とし，単位を与えます』というように，シラバスは，授業を履修しようとする学生とその授業を開設している教員との契約書のようなものなのです。したがって，履修する授業を選択するときだけではなく，授業期間中であってもシラバスの内容をチェックすることが必要です。

履修計画を立てたり学習する際に，シラバスを参照してください。

3　履修登録の方法

山口大学では，授業の履修登録に修学支援システムを使用しています。本紙 P.54からの修学支援システムの利用方法を読みながら，履修登録をしてください。

共通教育のご案内

「山口大学ホームページ」→「在学生の方」→「教育情報（共通教育）」より共通教育のホームページを確認できます。是非利用してください。

Ⅱ．共通教育とは

1　共通教育により身に付ける資質・能力について

山口大学の学生として相応しい教養を身に付けるため，本学の共通教育では，教養コア科目９単位，英語科目６単位，一般教養科目13又は15単位の計28又は30単位を，すべての学部（共同獣医学部及び国際総合科学部を除く）の学生が必修科目として履修します。これらの必修科目を履修することで身に付けることのできる資質・能力を以下に示します。

なお，ここに記載する「学部」には，ひと・まち未来共創学環も含まれます。

1．（汎用的能力）：自ら課題を発見し，解決を図るとともに，自ら目標を立て，行動することができる。
2．（情 報 処 理）：情報処理に関する基礎的な知識・技能を修得するとともに，情報および情報手段を主体的に選択し，正しく安全に活用することができる。
3．（運動と健康）：健康で文化的な生活を営むために必要な基礎的知識と方法を修得し，自らの生活の質を高めることができる。
4．（英　　語）：英語を用いて基礎的なコミュニケーションを図ることができる。
5．（人 文 教 養）：社会と文化およびそれらと人間との関わりに関する基礎的な知識を修得するとともに，多文化・異文化を理解し，人間としての生き方を考えることができる。
6．（社 会 教 養）：政治，経済や法律などについての基礎的な知識を修得し，良識ある市民として行動することができる。
7．（自 然 教 養）：自然についての基礎的な知識を修得し，自然がかかわる現象や社会的問題について考察することができる。
8．（学際的教養）：現代社会の諸問題について基礎的な知識を修得し，それらを解決するための取り組みや課題などについて考察することができる。

共通教育については，山口大学のすべての学部が協力して実施しています。学生のみなさんは，所属する学部や学科により異なる専門教育に加え，学部や学科の垣根を越えて開設されている共通教育についても，卒業に必要な教育の一環として履修します。共通教育を学習することによって，様々な学部の多彩な専門分野を研究している教員と出会うことができます。

山口大学キャラクター
ヤマミィ

2　共通教育の内容

（1）共通教育の教育システム

本学の共通教育については，以下のような教育システムにより実施されています。

共通教育の教育システム

① 同じ学習の目的を掲げる 28 又は 30 単位の授業科目をすべての学部（共同獣医学部および国際総合科学部を除く）の学生が必修科目として履修
② クォーター制（一部セメスター制）による授業科目の提供
③ アクティブラーニング等による学習時間の確保
④ コミュニケーションを重視した英語教育の実施
⑤ 授業における ICT の積極的な活用

（2）共通教育の特徴

共通教育（28又は30単位）の授業科目には，全学共通の学習の目的が設定されており，学部による違いはなく，これらの授業科目は，「基礎セミナー」と英語系列の一部を除くと，原則としてクォーター制で提供され，「キャリア教育」を除くと，原則として初年次に開講されます。さらには，

○　アクティブラーニングを通じて，異文化・多文化理解の基盤をつくる「山口と世界」を教養コア科目に置く。
○　自己の在り方・生き方を考えるキャリア教育分野を教養コア科目に置く。
○　外国語教育は，英語を必修とする。

なども，本学の共通教育の特徴です。

本学の共通教育には，教養コア科目，英語，一般教養科目以外にも，専門基礎科目，教職基礎科目，教養展開科目があります。専門基礎科目は特定の学部・学科の学生のみを対象とする授業科目であり，理系基礎科目などがこれに該当します。教職基礎科目は，教員免許状取得をめざす学生を対象とする授業科目です。

また，教養展開科目は，全学部を対象とする授業科目で，国際・地域・知財・ユニバーサルデザイン・総合・Yu-DX・時間学それぞれの分野の発展的な科目です。

（3）共通教育授業科目について

共通教育の授業科目は，以下のように分類され，大学生としての基礎知識または幅広い分野の教養を学習することにより，物事を捉える総合的な判断力と多角的な視野を養成していきます。

① 教養コア系列

山口大学の学生としての基本的な学習スキル，生活スキルを身につけるとともに，地域に貢献する意欲を育成する。

「基礎セミナー」

高等学校から大学への円滑な移行を図るため，学習および大学生活に必要なスキルを習得するとともに，自ら考え・判断・表現・行動・発言する基礎的な能力を身につける。

「データ科学と社会Ⅰ」，「データ科学と社会Ⅱ」

「超スマート社会」の到来に備えて，それを支えるデータサイエンスの概要を理解するとともに，情報および情報手段を主体的に選択し，正しく安全に活用するための基礎的な知識・技能を身につける。

「知的財産入門」

知的財産についての全体概要と科学技術の役割を理解し，将来あるべき姿について多角的な視点から考察する力を養う。

「運動健康科学」

自らの生活の質を高め，健康で文化的な生活を営むための基礎的知識と方法を習得する。

「山口と世界」

山口県の歴史，文化，経済，産業，自然，教育など身近な地域の特色を知り，地域社会の発展に寄与する能力や態度を身につけるとともに，それらの資質を将来所属する地域や国際的環境で活かす力を養う。

「知の広場」，「キャリア教育」

自己の在り方・生き方を考え，卒業後に社会的・職業的自立を図るために必要な基礎的知識や態度を身につける。

② 英語系列

コミュニケーションツールとしての英語力（の基礎）を身につける。

「英語Ⅰａ」，「英語Ⅰｂ」，「英語Ⅱａ」，「英語Ⅱｂ」，「英語会話Ⅰａ」，「英語会話Ⅰｂ」，「英語会話Ⅱａ」，「英語会話Ⅱｂ」

汎世界的なコミュニケーションツールとしての英語力（の基礎）を身につけ，積極的に対話・討論・発表する力を養う。

③ 一般教養系列

人文・社会・自然の各領域の基本的な考え方を習得し，現代社会を支え，改善していくための基本的姿勢を身につける。

・**人文教養領域**

社会と文化およびそれらと人間の関わりに関する基礎的知識を習得するとともに，多文化・異文化を積極的に理解し，地域・社会に貢献する態度を身につける。

「哲学」

哲学・思想・宗教・芸術について基本的知識を身につけ，諸課題を発見・分析・考察する力を養う。

「歴史学」

歴史上の諸事実がどのように解明され，どのような歴史的意義を有するかについて，時代や地域の固有性や普遍性を踏まえながら理解する力を養う。

「社会学」

社会学・社会心理学・文化人類学・民俗学について基本的知識を身につけ，現代社会の諸問題を発見・分析・考察する力を養う。

・**社会教養領域**

現代社会について基礎的な知識を習得し，良識ある市民として地域・社会に貢献する態度を身につける。

「経済と法１」，「経済と法２」，「経済と法３」

経済や法律に関する基本的な知識を身につけ，現代社会の諸問題を自ら発見・分析・考察する力を養う。

・**自然教養領域**

自然についての基礎的な知識を習得し，自然がかかわる現象や社会的問題について考察する力を養う。

「自然科学１」，「自然科学２」

自然科学の諸領域の基礎を学ぶことを通じて，論理的思考力や合理的判断力を身につけ，自らの生活や学習に活かす力を養う。

・**学際的教養領域**

現代社会の諸問題と，その解決のための取り組みや課題などについて，情報ツールや数量的スキルなどを用いて論理的に説明する力を養う。

「人間の発達と育成１」，「人間の発達と育成２」

現代のさまざまな分野における発達環境や人づくりの面から，人間の心理・発達や人材育成について理解し考察する力を養う。

「文化の継承と創造１」，「文化の継承と創造２」

伝統の継承や変容，異文化間の交流，情報化など現代文化の動きを理解することを通して，前世代から学ぶもの，次世代に伝えるものに関して考察する力を養う。

「社会と医療」

保健・医療・福祉の観点から健康問題を総合的に捉え，その将来あるべき姿について考察する力を養う。

「環境と人間」

自然の中で生きる人間と環境の問題・課題を理解し，環境・エネルギーの将来あるべき姿について考察する力を養う。

「食と生命」

人間が生きるために必要な食資源について関心を払い，生命に関して多角的な視点から考察する力を養う。

④ 専門基礎系列

専門分野を学ぶための基礎的知識・技能を習得する。

・**理系基礎分野**

自らの専門分野を学ぶために必要な基礎的知識・技能を習得する。

⑤ 教職基礎系列
教育職員としての基礎的教養を習得する。

・**教職基礎分野**

「日本国憲法」
日本国憲法についての理解を通して，人権および平和と民主主義に関する，教育職員としての基礎的教養を習得する。

「スポーツ運動実習」
スポーツ，運動についての体験的な理解を通して，健康と安全に関する，教育職員としての基礎的教養を習得する。

⑥ 教養展開系列
発見し・はぐくみ・かたちにするための発展的教養を習得する。

・**国際展開分野**
国際的に活躍するための教養と技能を習得する。
「国際展開科目Ａ１」「国際展開科目Ａ２」「国際展開科目Ｂ１」「国際展開科目Ｂ２」

・**地域展開分野**
地域の課題を理解し，その将来あるべき姿について考察する力を養う。
「地域展開科目Ａ１」「地域展開科目Ａ２」「地域展開科目Ｂ１」「地域展開科目Ｂ２」

・**知財展開分野**
知的財産についての幅広い知識を習得し，知的財産がかかわる社会的問題について考察する力を養う。
「知財展開科目Ａ１」「知財展開科目Ａ２」「知財展開科目Ｂ１」「知財展開科目Ｂ２」

・**ユニバーサルデザイン展開分野**
障害等をはじめとする多様性の理解，アクセシビリティに関する知識と理解，障害学生支援スキルとコーディネート能力を習得する。
「ユニバーサルデザイン展開科目Ａ１」「ユニバーサルデザイン展開科目Ａ２」
「ユニバーサルデザイン展開科目Ｂ１」「ユニバーサルデザイン展開科目Ｂ２」

・**総合展開分野**
分野横断的な学習や新しい分野等の学習により総合的・多角的な視野を身につけ，多様な社会に対応するための力を養う。
「総合科目Ａ１」「総合科目Ａ２」「総合科目Ｂ１」「総合科目Ｂ２」

・**Yu-DX分野**
山口大学が実施するDX人材育成プログラム"Yu-DXプログラム"の一部となる授業科目で構成され，地域課題への理解，DXの概念，実践力を身に付ける。
「DX概論」「地域学」「DXPBL」

・**時間学分野**
山口大学の特色の一つである『時間学』を体系的に学ぶことができる。
文系・理系の両方に関わる時間学を学ぶことで，時間に関する知識を得るだけでなく，豊かで柔軟な考え方を習得する。
「時間学１」「時間学２」

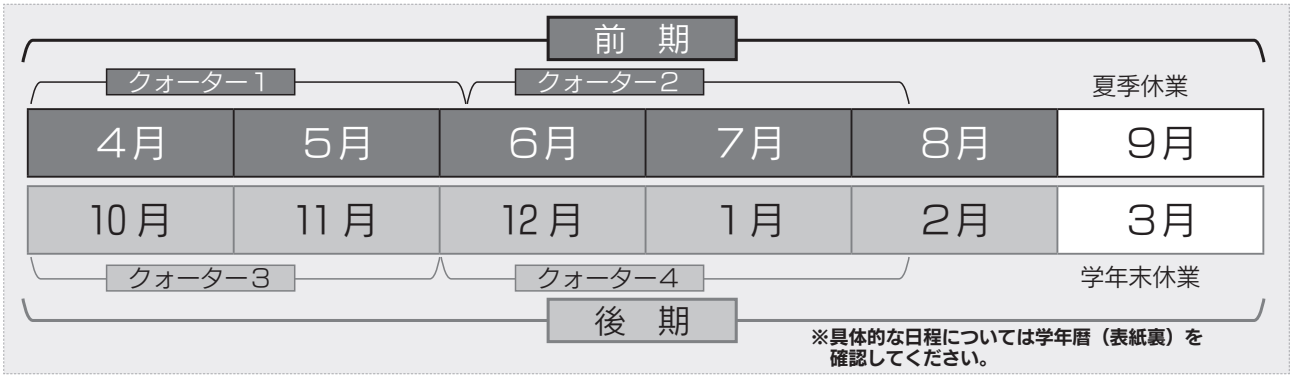
Q：大学の授業は難しくないですか？

A：　大学の授業，特に講義形式の授業を受講すると，初めのうちは難しく感じることでしょう。それは，高等学校までの授業とは，かなり違った方法により授業が進められていくからなのです。大学の授業では，ノートにまとめて，その内容を覚えるだけでは，本当に学んだことにはなりません。自分自身で考えるというプロセスを踏まないと，本当に学んだことにはならないのです。

　大学の授業を難しく感じる理由の1つは，ある授業において，学生のみなさんにある決まった知識を与えているのではなく，自分自身が考えるための材料を与えているからなのです。「大学で学ぶ」ということは，授業を単に聞くことではなく，自分自身で考えるということから始まるのです。たとえば疑問点を担当教員に質問することなどが，自分自身で考えるための良いきっかけになります。質問は，授業中だけでなく，オフィス・アワーやE-mailを利用してください。また，関連した書籍や資料を読んでみることも良いでしょう。

Ⅲ．共通教育の仕組み

1　学期と授業時間



（1）学期（セメスター制）について

山口大学は，１年間を前期と後期との２つの学期に分けています。

各学期の期間については，以下のとおりです。（授業開始日と学期の開始日は異なります）

前　期　**4月1日～9月30日**

後　期　**10月1日～3月31日**

共通教育の一部の授業では，それぞれの学期ごとにその授業を完結させる（セメスター制）授業を開講しています。

（2）クォーター授業について

共通教育の多くの授業では，各学期（前期または後期）の半分の期間において，各授業を完結させる（クォーター制）授業を開講しています。

なお，「時間割表」のクォーター授業の表記等については，「時間割表」の《授業時間割の表記の例》を，**各クォーターの開始日については，表紙裏の学年暦（カレンダー）を参照してください。**

クォーター授業の表記			
前期 前半期	：	クォーター１	（Ｑ１と略記）
前期 後半期	：	クォーター２	（Ｑ２と略記）
後期 前半期	：	クォーター３	（Ｑ３と略記）
後期 後半期	：	クォーター４	（Ｑ４と略記）

（3）授業時間について

共通教育における授業時間は，以下のとおりです。

時　　限	コ　マ	授　業　時　間	備　　考
１　・　２　時　限	１コマ目	８時５０分～１０時２０分	
３　・　４　時　限	２コマ目	１０時３０分～１２時００分	
５　・　６　時　限	３コマ目	１３時００分～１４時３０分	
７　・　８　時　限	４コマ目	１４時４０分～１６時１０分	
９　・　１　０　時　限	５コマ目	１６時２０分～１７時５０分	
１１・１２時限	６コマ目	１８時００分～１９時３０分	
５・６・７・８時限		１３時００分～１６時００分	実験系授業科目
７・８・９・１０時限		１４時４０分～１７時４０分	実験系授業科目

Q：「コマ」という言い方を聞いたのですが？

Ａ：　各授業は，90分の授業を基本としていますから，それを通称「１コマ」という言い方をします。「今日の２コマ目（３・４時限）が休講だ」とか「明日は，５コマも授業がある！」という使い方をします。

（4）授業振替日について

授業振替日とは，祝祭日等により休日となる曜日の授業を所定の日に振り替えて，授業が開講される日のことです。例えば，４月30日（水）が火曜日振替授業日の場合，原則として，４月30日（水）には火曜日の授業のみを開講し，振り替えられた曜日（この場合は水曜日）の授業は開講されません。

セメスター	授　業　振　替　日	授　業　実　施　内　容
前　　期	４月30日（水）	火曜日の授業が行われます
前　　期	５月８日（木）	月曜日の授業が行われます
前　　期	５月９日（金）	火曜日の授業が行われます
後　　期	１０月16日（木）	月曜日の授業が行われます
後　　期	１１月５日（水）	月曜日の授業が行われます
後　　期	１１月28日（金）	月曜日の授業が行われます
後　　期	１月７日（水）	月曜日の授業が行われます
後　　期	１月13日（火）	金曜日の授業が行われます

（5）予備日について

予備日とは，「気象事象による災害発生の恐れがある場合の授業及び定期試験の取り扱い」の規定に基づき，休講となった授業等が実施される日です。予定を空けておいてください。

セメスター	予　　備　　日
前　　期	６月８日（日），８月５日（火）
後　　期	１１月29日（土），２月５日（木）

2 共通教育科目実施の流れ

共通教育科目の授業開始から単位認定までは，以下のとおりです。
それぞれの期間については，次ページから説明します。

クラス選択が必要な授業※1は，履修・抽選登録期間に Web で抽選登録してください。
それ以外の授業も，履修・抽選登録期間に修学支援システム（Web）で履修登録してください。

① 履修・抽選登録 期間

期間内に必ず履修登録を行ってから，授業に参加してください。

前 期	令和７年　４月　４日（金）　９：００ ～ 令和７年　４月　６日（日） 令和７年　４月　８日（火）　９：００ ～ 令和７年　４月１５日（火）
後 期	令和７年　９月　５日（金）　９：００ ～ 令和７年　９月１８日（木）

② 抽選結果発表日

前 期	Q１	抽選科目なし
	Q２	令和７年　４月１８日（金）正午
後 期	Q３ Q４	令和７年　９月２４日（水）正午

初日授業開始日※2

前期	セメスター・クォーター１：令和７年　４月　９日（水）～	クォーター２：令和７年　６月　９日（月）～
後期	セメスター・クォーター３：令和７年１０月　１日（水）～	クォーター４：令和７年１２月　１日（月）～

③ 履修修正・追加・削除 期間

登録もれがないか，必ず確認してください。

前 期	セメスター・クォーター１ 令和７年　４月１６日（水）　～　令和７年　４月２２日（火）
	クォーター２ 令和７年　４月１８日（金）正午　～　令和７年　６月１３日（金）
後 期	セメスター・クォーター３ 令和７年　９月２４日（水）正午　～　令和７年１０月　７日（火）
	クォーター４ 令和７年　９月２４日（水）正午　～　令和７年１２月　５日（金）

定期試験期間

前期	クォーター１　：令和７年　５月２６日（月）～　令和７年　６月　６日（金） セメスター・クォーター２：令和７年　７月２２日（火）～　令和７年　８月　４日（月）
後期	クォーター３　：令和７年１１月１４日（金）～　令和７年１１月２８日（金） セメスター・クォーター４：令和８年　１月２２日（木）～　令和８年　２月　４日（水）

成績通知

学部により Web 公開時期は異なります。
概ね前期開講科目は８月下旬頃，後期開講科目は２月下旬頃に公開します。
詳細は，各学部教務（学務）担当係からお知らせします。

※１ 共通教育時間割表の抽選欄に（◎）と書かれた授業は，抽選登録によりクラス選択が必要です。
※２ 具体的な日程については，学年暦（表紙裏）を参照してください。クォーター２，およびクォーター４の授業開始日は，学年暦のとおりです。

（1）履修・抽選登録について

前ページ①「履修・抽選登録期間」中に，履修する共通教育科目および専門科目すべてを，Web上の「修学支援システム」で受講の申し込み（履修登録）やクラス選択（抽選登録）をすることになります（抽選登録対象の授業については「（3）抽選登録について」を参照してください）。

（2）履修・抽選登録等の方法

共通教育科目に限らず山口大学での授業の登録は，修学支援システムによるWebでの登録となります。詳細は，『修学支援システム学生用マニュアル』（P.54～）を参照してください。

〔修学支援システムへの入り口〕

「山口大学ホームページ」→「在学生の方」→「教務情報」→「修学支援システム」

※ログインのためのIDは，入学時に配布する「山口大学教育用計算機利用登録証」内の「E-mail」アドレスの@の前のアカウント（（例）■■■@yamaguchi-u.ac.jpの場合，IDは■■■），初期パスワードは同登録証に記載されているパスワードを使用します。

（3）抽選登録について

前期クォーター２以降，共通教育時間割表の抽選欄に「◎」と書かれた授業は，抽選登録によるクラス選択が必要です。「履修・抽選登録期間」に，修学支援システムにより抽選登録（クラス選択）をしてください。抽選登録の際は，同一クォーター・曜日・時限内で複数のクラスを希望順に選択してください（具体的な登録方法は，修学支援システム操作マニュアルをご参照ください）。また，抽選科目以外の授業科目についても，受講生が多い場合は抽選を行うことがあります。

専門基礎系列については，学部の指示に従ってください。

教職基礎系列の「スポーツ運動実習」については，P.30を参照してください。

その他については，随時掲示等でお知らせします。

Q：時間割表の抽選欄に「●」と書かれた科目も，抽選科目ですか？

A：　時間割表の抽選欄に「●」と書かれた科目は，１年生はクラスが指定されていますので，全員当選するようにシステム上設定してあります（修学支援システムでは「第一希望」と表示されます）。２年生以上は抽選科目となり，落選する場合がありますので，１年次に単位修得するよう心がけてください。

（4）抽選結果の発表について

抽選の結果割り当てられたクラスについては，修学支援システムでお知らせします。前ページ②抽選結果発表日から授業開始までに確認して，当選したクラスで受講ください。希望したすべてのクラスに落選した場合，空いているクラスに自動で割り振られますので，そちらで受講してください。抽選登録をし忘れた場合は，「履修修正・追加・削除期間」に，定員に達していないクラスについてWeb登録先着順で受け付けますので，必ず該当授業開始前に登録し，登録できたクラスに参加してください。（修学支援システム学生用マニュアルP.62～64も参照してください）

［重要］当選したクラスを勘違いするなどして当選していない授業に参加しても，評価を受けることはできません。どのクラスに当選したか十分に確認し，授業開始時にその授業の講義題目と教員が当選したクラスとあっているかを確認してください。

（5）定員について

共通教育科目については，適正な授業運営，教育効果の向上および危機管理のために，各授業クラスに定員を設け，受講する学生の人数を制限していますので，クラスの指定や抽選に当選して受講の認められた学生の数が定員を満たした科目については，それらの学生以外が受講することはできません。

（6）履修修正・追加・削除期間について

前ページ①の「履修・抽選登録期間」中に登録し忘れた科目や誤って履修登録した科目がある場合，また誤って抽選登録していたのに当選してしまった科目がある場合には，前ページ③の「履修修正・追加・削除期間」に修学支援システムにより修正を行ってください。抽選登録が必要な科目で定員に達した科目は追加登録できませんが，

定員に達していないクラスについては，Web登録先着順で定員に達するまで登録できます。**授業に参加する前に該当授業が定員に達していないか確認し，Web登録を行ってから授業に参加してください。この期間を超えて間違いに気づいた場合，成績評価の対象とならないことがありますので，十分注意してください。**

（7）履修登録上の注意

- □ 履修登録を行う前に，本人宿所情報と保証人情報の確認画面になります。必ず入力してください。入力後変更があった場合，必ず修正を行ってください。電話番号については，緊急の際であっても連絡可能な電話番号を入力してください。携帯電話等を所持している場合には，その電話番号を入力してください。電話番号は，すべて数字のみ半角で入力してください。なお，入力された個人情報については，大学からの緊急時の連絡以外には利用することはありません。
- □ コードによる登録を行う場合，共通教育授業時間割表や各学部の専門科目の授業時間割を確認し，正しく入力してください。
- □ １週間に２コマ以上開講される授業科目については，１箇所のみ登録してください。
- □ 一部の集中講義については，履修登録を行わないでください。登録方法は掲示等でお知らせします。
- □ **クォーター開講科目は，クォーター－１とクォーター－２およびクォーター３とクォーター４の授業を間違えて登録しないように，時間割コード欄の学期（前期前半等）をよく確認してください。**
- □ **同一曜日時限に授業科目名が同じものが複数開講されます。履修クラスを間違えて登録しないように，担当教員と講義題目をよく確認してください。**
- □ 「化学実験Ｂ」と「物理学実験Ｂ」を両方受講する場合は，その両方を登録してください。（Ｐ.29参照）
- □ **共通教育科目の集中講義は，原則Web履修登録する必要はありません。履修方法については，修学支援システム，掲示等でお知らせします。**

Q：時間割の作り方が分かりません。正しく履修登録できるか不安です。

Ａ：　大学では，時間割を自分自身で作成しなければなりません。この『共通教育履修案内』と学部の『履修の手引』をよく読み，巻末の表を利用して時間割を作成しましょう。時間割は，①必修科目，②選択科目の順番に授業を選んでいくとスムーズに作ることができるでしょう。

履修登録については，「履修・抽選登録」，「履修修正・追加・削除」それぞれの期間をよく把握して，期間内に，間違いないようによく確認してください。

もしも，どの授業科目を履修すればよいのか，少しでも不安がある場合には，分からない箇所を整理してから，所属する学部の教務（学務）担当係に相談してください。

（8）補講の実施について

共通教育科目については，不足分の授業内容を補うために，担当教員の判断により休業期間中等に補講を実施することがあります。補講の実施曜日および時限等については，講義連絡等でお知らせします。

（9）学生授業評価（アンケート）の実施について

共通教育科目については，学生のみなさんが受講しているすべての授業科目（一部科目を除く）ごとに，それぞれの授業において『学生授業評価（アンケート）』を実施しています。

このアンケートにおけるみなさんの回答については，よりよい授業をつくっていくための資料となりますので，学生のみなさんの率直かつ厳正な回答をお願いしています。学生のみなさんには，受講しているすべての授業科目ごとに，アンケートを繰り返し回答していただくことになりますが，それぞれの授業に対して，みなさんの意見を反映させる貴重な機会ですので，ご協力をお願いします。

なお，学生授業評価の回答によって，学生のみなさんの当該授業科目の成績評価に対して，何ら影響を及ぼすものではありません。

（10）定期試験と成績通知について

Ｐ.34の「Ⅶ.共通教育の定期試験について」を参照してください。

Ⅳ．共通教育カリキュラムについて

1　共通教育カリキュラムとは

（1）共通教育カリキュラムについて

共通教育カリキュラムは，あなたの所属する学部の要請のもと，山口大学の学生として備えておくべき資質・能力のため，また社会が求める人間を育成するために必要な教養を深めるための教育課程です。

（2）カリキュラム表について

学生のみなさんは，各学部の『履修の手引』等に記載されているカリキュラム表に基づいて単位を修得していくこととなります。この共通教育カリキュラム表は，科目編成表（P.14），カリキュラムマップ（P.15）および単位一覧表（P.15）から成り立っています。この３つの表の仕組みについて，次ページから説明します。

カリキュラム表（例）

系　列		分　野	授　業　科　目	単位数	カリキュラムマップ（選択：○ / 必修：◎）	卒業要件単位数		備　考
教養コア		基礎セミナー	基礎セミナー	2	◎	9	15	
		情報処理	データ科学と社会Ⅰ データ科学と社会Ⅱ	1 1	◎ ◎			
		知的財産入門	知的財産入門	1	◎			
		運動健康科学	運動健康科学	1	◎			
		山口と世界	山口と世界	1	◎			
		キャリア教育	知の広場 キャリア教育	1 1	◎ ◎			
英語		英　語	英語Ⅰａまたは英語Ⅱａ 英語Ⅰｂまたは英語Ⅱｂ 英語Ⅰａまたは英語会話Ⅱａ 英語Ⅰｂまたは英語会話Ⅱｂ	2 2 1 1	○ ○ ◎ ◎	6		
一般教養	人文教養	哲　学	哲学	1	○	3		
		歴史学	歴史	1	○			
		社会学	社会	1	○			
	社会教養	経済と法	経済と法1 経済と法2 経済と法3	1 1 1	○ ◎ ◎	3		
	自然教養	自然科学	自然科学1 自然科学2	1 1	○ ◎	2		
	学際的教養	人間の発達と育成	人間の発達と育成1 人間の発達と育成2	1 1	◎ ◎	7		
		文化の継承と創造	文化の継承と創造1 文化の継承と創造2	1 1	◎ ◎			
		社会と医療	社会と医療	1	◎			
		環境と人間	環境と人間	1	◎			
		食と生命	食と生命	1	◎			

科目編成表　カリキュラムマップ　単位一覧表

2　科目編成表について

（1）科目編成表について

カリキュラム表の最左部に記載している科目編成表には，共通教育において開設されている授業科目が記載されている他，系列，分野，単位数，積み上げ履修等が表記されています。

（2）系列と分野

系列と分野とは，科目編成表を体系化するグループです。それぞれの学習の目的については，P. 4 ～P. 6 を参照してください。

（3）単　　位

山口大学では，大学の教室等における授業の部分の単位の基準について，講義および演習にあっては15～30時間の授業をもって１単位とし，実験，実習および実技については30～45時間の授業をもって１単位とします。各授業科目の授業時間と単位数の関係については，以下のとおりです。

区　分	１単位あたりの授業時間数	１週あたりの授業時間数	学期あたりの単位数（１セメスター＝１５週）（１クォーター＝ ８ 週）		備　考
講義・演習	15 時間	2時間	クォーター	１単位	
			セメスター	２単位	
実　　験	30 時間	４時間	クォーター	１単位	医学部および工学部
			セメスター	２単位	理学部および農学部
実　　習	30 時間	2時間	セメスター	１単位	
外　国　語	15 時間	2時間	セメスター	２単位	
		４時間	セメスター	４単位	
英 語 会 話	30 時間	2時間	セメスター	１単位	
日　本　語	15 時間	2時間	セメスター	２単位	外国人留学生

Q：「単位」って何なの？

A：　「単位」とは，学生のみなさんの大学における学修の成果を数量的に示したものです。標準としては，45時間の学修（【大学の教室等における授業】＋【授業時間外の学習】）を必要とする内容をもって構成される授業科目に１単位が与えられます。たとえば，2単位の講義であれば90時間のうち，30時間は大学で授業を受けるので，残りの60時間は授業外で学習しなければいけません。

学生のみなさんが，所属する学部において進級や大学を卒業したという資格を得る際には，この「単位」というものを基準にして判定されることになります。履修した授業科目の成績については，秀～可までを合格として判定され，「単位」を修得したことになります。どの授業科目の「単位」を修得して，合計どれだけの「単位」を修得しているかということは，自分自身の責任においてしっかり把握しておかなければなりません。

3　カリキュラムマップについて

（1）カリキュラムマップについて

カリキュラム表の中ほどに記載されているカリキュラムマップには，あなたの所属する学科，課程またはコースが記載されています。その学科，課程またはコースからの縦列が，あなたの学科，課程またはコースに必要な科目を丸づけで表しています。

（2）丸印の種類と意味について

カリキュラム表に表記されている◎の科目は，この科目が必修であることを示しています。また，〇の科目は，この科目が選択科目であり必ずしも単位の修得の必要はないが，単位を修得した場合は卒業に必要な単位として算入されることを意味します。

（3）空欄について

◎も〇も記載されていない欄は，単位を修得しても卒業に必要な単位として算入されませんので，注意してください。ただし，前記事項を了承の上，授業を受講したい場合は，担当教員および所属する学部の教務（学務）担当係へ報告・了承の上，履修することはできます。

4　単位一覧表について

（1）単位一覧表とは

単位一覧表とは，線で区切られた分野および授業科目の中から卒業（学部によっては進級要件も表記）に必要な単位を表記したものです。

（2）卒業要件単位数について

卒業要件単位数とは，卒業に必要な単位として認められる授業科目の中から，単位を修得した授業科目の単位数の合計により算出されます。単に修得単位を合計した数が卒業要件単位数を超えればいいのではなく，「必修科目の単位は修得しているか」「単位一覧表に沿った単位を修得しているか」など総合的な合計になりますので，十分注意してください。

Q：カリキュラム表を見てどのように履修計画を立てるの？

A：　カリキュラム表を見て，いきなり“自分の履修計画を立ててください”と言われても，どうすればいいのでしょうか？まずみなさんは，自分の所属する学部学科のカリキュラムマップを探してください。

カリキュラムマップを見ると，◎や〇がついている授業科目があると思います。これらの科目は，単位を修得すると卒業するために必要な単位として数えることができます。しかし，次の『単位一覧表』をみると「4」などの数字が書いてあります。この数字の意味は，その枠の中の授業から「4」単位までが，卒業に必要な単位として認められることを意味します。それ以上の単位をとっても，その分野では「4」までしか卒業に必要な単位として認められません。履修計画を立てるときは，P.23からの「Ⅵ.共通教育科目の履修上の注意」を参照してください。どうしてもわからないことに直面した場合は，担当の先生や教務（学務）担当係に相談してください。

5　科目ナンバリングについて

（1）科目ナンバリングについて

学修の段階や順序等を表し，教育課程の体系性を明示することを目的とし，本学では令和元年度より，全ての学部でこの制度を導入しています。

（2）科目ナンバリングのルール

下記表の８桁の数字で，当該科目のカリキュラム上の位置付けを示します。

①　開講学部コード（数字２桁） ＊注１	共通教育（00），人文学部（10），教育学部（07），経済学部（17），理学部（22），医学部（42），工学部（25），農学部（34），共同獣医学部（36），国際総合科学部（14），ひと・まち未来共創学環（19）
②　分野１（数字３桁）	共通教育科目では「系列」を表します。
③　分野２（数字２桁）	共通教育科目では「分野」を表します。
④　科目レベル（数字１桁）	導入１，基礎２，発展３，応用４

＊注１　開講部局によって数字２桁が異なります。例えば共通教育科目であれば，00－●●●－●●－●，人文学部科目であれば，10－●●●－●●－●となります。

例）　基礎セミナー

００－０１０－０１－１
①　②　③　④

（3）共通教育科目の科目ナンバー

共通教育科目の科目ナンバーの一覧は，P.17～19の「共通教育科目一覧」及び「共通教育（共同獣医学部）科目一覧」を参照してください。また，所属学部の科目ナンバーの一覧については，当該学部の『履修の手引』等で確認してください。

6　メディア授業について

メディア授業とは，メディアを利用して遠隔方式により実施する授業の授業時数が，総授業時数の半数を超える授業をいいます。例えば，16週（授業回数が15回＋対面試験１回）の場合，８回以上遠隔授業（リアルタイム，オンデマンド）で実施するものをメディア授業といい，授業科目に対して定義されるものになります。

メディア授業により修得した単位は，卒業要件として修得すべき単位のうち60単位を超えないものとされています。

共通教育では，一部の科目がメディア授業にあたります。P.17～19の「共通教育科目一覧」及び「共通教育（共同獣医学部）科目一覧」の「メディア」の欄を参照してください。所属学部の科目のメディア授業については，当該学部の『履修の手引』等で確認してください。

なお，メディア授業であっても，対面で授業を行う回がある場合があります。

詳しくは，シラバスを確認したり，授業担当教員に確認してください。

共通教育科目一覧

①開講学部コード　　数字２桁　学籍番号最初の２桁。共通は’00’
②分野１　　数字３桁　学科・コース等。共通は’系列’
③分野２　　数字２桁　科目系列・分野等。共通は’分野’
④科目レベル　　数字１桁　導入１，基礎２，発展３，応用４

①	系列	②	分野	③	授業科目	単位	メディア	④	ナンバリング（①+②+③+④）
00	教養コア	010	基礎セミナー	01	基礎セミナー	2		1	00010011
			情報処理	02	データ科学と社会Ⅰ	1		1	00010021
					データ科学と社会Ⅱ	1		1	
			知的財産入門	06	知的財産入門	1	メディア	1	00010061
			運動健康科学	03	運動健康科学	1		1	00010031
			山口と世界	04	山口と世界	1		1	00010041
			キャリア教育	05	知の広場	1		1	00010051
					キャリア教育	1		2	00010052
	英語	020	英語	06	英語Ⅰａ	2		1	00020061
					英語Ⅰｂ	2		1	
					英語会話Ⅰａ	1		1	
					英語会話Ⅰｂ	1		1	
					英語Ⅱａ	2		1	
					英語Ⅱｂ	2		1	
					英語会話Ⅱａ	1		1	
					英語会話Ⅱｂ	1		1	
	一般教養（人文教養）	030	哲学	07	哲学	1		1	00030071
			歴史学	08	歴史学	1		1	00030081
			社会学	09	社会学	1		1	00030091
	一般教養（社会教養）	031	経済と法	10	経済と法１	1		1	00031101
					経済と法２	1		1	
					経済と法３	1		1	
	一般教養（自然教養）	032	自然科学	11	自然科学１	1		1	00032111
					自然科学２	1		1	
	一般教養（学際的教養）	033	人間の発達と育成	12	人間の発達と育成１	1		1	00033121
					人間の発達と育成２	1		1	
			文化の継承と創造	13	文化の継承と創造１	1		1	00033131
					文化の継承と創造２	1		1	
			社会と医療	14	社会と医療	1	メディア	1	00033141
			環境と人間	16	環境と人間	1	メディア	1	00033161
			食と生命	17	食と生命	1		1	00033171
	専門基礎	040	理系基礎	18	数学Ⅰ	2		1	00040181
					数学Ⅱ	2		1	
					物理学Ⅰ	2		1	
					物理学Ⅱ	2		1	
					化学Ⅰ	2		1	
					化学Ⅱ	2		1	
					生物学Ⅰ	2		1	
					生物学Ⅱ	2		1	
					地球科学Ⅰ	2		1	
					地球科学Ⅱ	2		1	
					物理学実験Ａ	2		1	
					物理学実験Ｂ	1		1	
					化学実験Ａ	2		1	
					化学実験Ｂ	1		1	
					生物学実験	2		1	
					地球科学実験	2		1	
	教職基礎	050	教職基礎	21	日本国憲法	2		1	00050211
					スポーツ運動実習	1		1	

教養展開	060	国際展開	22	国際展開科目Ａ１	1		2	00060222
				国際展開科目Ａ２	2		2	
				国際展開科目Ｂ１	1	メディア	2	
				国際展開科目Ｂ２	2	メディア	2	
		地域展開	23	地域展開科目Ａ１	1		2	00060232
				地域展開科目Ａ２	2		2	
				地域展開科目Ｂ１	1	メディア	2	
				地域展開科目Ｂ２	2	メディア	2	
		知財展開	24	知財展開科目Ａ１	1		2	00060242
				知財展開科目Ａ２	2		2	
				知財展開科目Ｂ１	1	メディア	2	
				知財展開科目Ｂ２	2	メディア	2	
		ユニバーサルデザイン展開	25	ユニバーサルデザイン展開科目Ａ１	1		2	00060252
				ユニバーサルデザイン展開科目Ａ２	2		2	
				ユニバーサルデザイン展開科目Ｂ１	1	メディア	2	
				ユニバーサルデザイン展開科目Ｂ２	2	メディア	2	
		総合展開	26	総合科目Ａ１	1		2	00060262
				総合科目Ａ２	2		2	
				総合科目Ｂ１	1	メディア	2	
				総合科目Ｂ２	2	メディア	2	
		Yu-DX	27	ＤＸ概論	2	メディア	2	00060272
				地域学	2	メディア	2	
				ＤＸＰＢＬ	2		2	
		時間学	28	時間学１	1		2	00060282
				時間学２	1		2	
日本語	070	日本語	20	日本語Ⅰ（総合）	２～10		1	00070201
				日本語Ⅱ（総合）	２～８		1	
				日本語Ⅱ（読む・書く）	２～４		1	
				日本語Ⅱ（聞く・話す）	2		1	
				生活日本語	２～６		1	
				日本文化	1		1	
				日本語ⅢＡ（総合）	２～４		2	00070202
				日本語ⅢＢ（総合）	２～４		2	
				日本語ⅢＡ（読む・書く）	2		2	
				日本語ⅢＢ（読む・書く）	2		2	
				日本語ⅢＡ（聞く・話す）	２～４		2	
				日本語ⅢＢ（聞く・話す）	２～４		2	
				日本語ⅢＡ（文法）	2		2	
				日本語ⅢＢ（文法）	2		2	
				プロジェクトワークで学ぶ日本語Ａ	2		2	
				プロジェクトワークで学ぶ日本語Ｂ	2		2	
				日本語ⅣＡ（総合）	２～４		3	00070203
				日本語ⅣＢ（総合）	２～４		3	
				日本語ⅣＡ（読む・書く）	２～４		3	
				日本語ⅣＢ（読む・書く）	２～４		3	
				日本語ⅣＡ（聞く・話す）	２～４		3	
				日本語ⅣＢ（聞く・話す）	２～４		3	
				日本語ⅣＡ（文法）	2		3	
				日本語ⅣＢ（文法）	2		3	
				日本語ＶＡ（総合）	２～４		4	00070204
				日本語ＶＢ（総合）	２～４		4	
				日本語ＶＡ（アカデミックライティング）	2		4	
				日本語ＶＢ（アカデミックライティング）	2		4	
				日本語ＶＡ（口頭表現）	2		4	
				日本語ＶＢ（口頭表現）	2		4	
				日本語ＶＡ（ビジネス日本語）	2		4	
				日本語ＶＢ（ビジネス日本語）	2		4	
				日本事情ＩＡ	2		4	
				日本事情ＩＢ	2		4	
				日本事情ⅡＡ	2		4	
				日本事情ⅡＢ	2		4	

共通教育（共同獣医学部）　科目一覧

①開講学部コード　　数字２桁　学籍番号最初の２桁。共同獣医学部の共通は’01’
②分野１　　数字３桁　学科・コース等。共同獣医学部の共通は’系列’
③分野２　　数字２桁　科目系列・分野等。共同獣医学部の共通は’分野’
④科目レベル　　数字１桁　導入１，基礎２，発展３，応用４

①	系列		②	分野	③	授業科目	単位	メディア	④	ナンバリング（①+②+③+④）
01	一般教養教育科目	人文・社会科学系	010	文化と継承	01	文化の継承と創造１	1		1	01010011
						文化の継承と創造２	1		1	
				思想と歴史	02	哲学	1		1	01010021
						歴史学	1		1	
				人と社会	03	社会学	1		1	01010031
						経済と法１	1		1	
						経済と法２	1		1	
						経済と法３	1		1	
						人間の発達と育成１	1		1	
						人間の発達と育成２	1		1	
		自然科学系	011	自然と科学技術	04	自然科学１	1		1	01011041
						自然科学２	1		1	
						知的財産入門	1	メディア	1	
						環境と人間	1	メディア	1	
						食と生命	1		1	
						データサイエンス数学	1		1	
						データサイエンス技術演習	2		1	
		総合教養系	012	人間教養と将来設計	05	山口と世界	1		1	01012051
						知の広場	1		1	
	体育・健康科目		020	健康とスポーツ分野	06	スポーツ運動実習	1		1	01020061
						社会と医療	1	メディア	1	
	初期教育科目		030	導入教育系	07	生命倫理学	1		1	01030071
						コミュニケーション論	1		1	
				情報科学系	08	データ科学と社会Ⅰ	1		1	01030081
						データ科学と社会Ⅱ	1		1	
	外国語科目		040	英語	09	英語Ⅰ	4		1	01040091
						英語Ⅱ	4		1	

Ⅴ．Yu-DX プログラムについて

（1）Yu-DXプログラムとは

Yu-DXプログラムとは，山口大学独自のDX人材育成プログラムです。

DXとは，「デジタルトランスフォーメーション」の略称で，データとデジタル技術を上手に活用し，ビジネスや社会，私たちの生活に大きな変化をもたらし，新しい価値を創出する取り組みです。近年では，DXにより様々な地域課題の解決を図っている事例もあり，そのための人材が広く求められています。

こうしたニーズを踏まえ，Yu-DXプログラムでは，様々な地域課題の解決のために求められる７つの力を一体的に修得することができます。

①【やまぐちスピリット】

山口県は波乱に富んだ歴史，美しい建築物，魅力ある自然環境，実績の高い製造業など様々な地域資源，学問的素材の宝庫です。まずはこれをじっくりと学びます。

②【グローカルマインド】

グローバルな幅広い視野と，その視野の広さを活かして，地域固有の課題の解決に取り組むことのできる柔軟性を養います。

③【イノベーション創出力】

大きな変化に直面している私たちの生活において求められる新しい価値を構想し，生み出すための力を高めます。

④【協働力】

目標を共有し，その達成に向けて，お互いの能力・立場を理解し合いながら，自分の立ち位置を意識した行動ができるようなバランス感覚を育てます。

⑤【課題発見・解決力】

与えられた問題，そのためのマニュアルではなく，自らの知識や技能を駆使して課題を抽出し，解決のためにその課題に向き合う姿勢を身に付けます。

⑥【挑戦・実践力】

大学・高専で身に付けた専門知識や技能を様々な場面で活用してみようとする積極性，実践に移そうとする行動力を育成します。

⑦【DXマインド】

DXの意義を正しく理解し，データとデジタル技術，知的財産に関する知識などを用いて，課題解決を実践します。

（2）Yu-DXプログラムのカリキュラムについて

Yu-DXプログラムのカリキュラムは，必修科目と選択必修科目に分類されます（表１）。必修科目は，すべての単位を修得する必要があります。

また，選択必修科目は，指定される科目から1科目以上修得する必要があります（単位数は問いません）。

【表１・Yu-DXプログラム科目】

区分	年次	科目名	単位数	内　　容
必修科目				
ＤＸ導入（*1）	1	知の広場（１回分）	—	DXに関する基礎的概念を知り，事例よりその推進の方法について理解する。
ＤＳ科目（*2）	1	データ科学と社会Ⅰ	1	データ活用のための基本的素養であるデータの活用方法，セキュリティ・モラルについて学ぶ。
	1	データ科学と社会Ⅱ	1	
知的財産科目	1	知的財産入門	1	ＤＸの推進が導く知識集約型社会で必要となる知的財産の知識を得る。
地域理解	1	山口と世界	1	山口県の歴史，文化，経済，産業，自然，教育など身近な地域の特色を知り，地域社会の発展に寄与する能力や態度を身に付ける。
ＤＸ概論	2	ＤＸ概論	2	DXの概念を理解し,その実施方法を事例ベースで学ぶ。
ＰＢＬ（*3）	3	ＤＸＰＢＬ	2	デジタル技術や知的財産に関する知識などを用いて地域課題の解決方法を考え実践するPBLをおこなう。特に山口県内の企業・自治体と連携し，課題解決方法を模索する。
選択必修科目（１科目以上）				
ＤＳ科目	学年は定めないがＤＸＰＢＬの前に受講することが望ましい	データサイエンス技術関連科目（*4）（各学部の専門科目名に「データサイエンス技術」が含まれているもの，および共通教育科目総合科目「データサイエンス応用基礎Ⅰ・Ⅱ」）	1 or 2	データサイエンスの基本的概念およびデータ分析の基礎的な技術を身に付ける。
知的財産科目		知財展開科目	1 or 2	著作権法，特許法，知財情報の分析と活用，ものづくりと知的財産，種苗法，技術経営と知的財産　など
地域理解		地域学	2	地域の特性や地域が抱える課題を認識し，自ら課題を設定し，その解決にチャレンジするための素地を培う。

※ひと・まち未来共創学環の学生は，「ＤＸ概論」及び「地域学」が学環の専門科目として開講されますので，その受講をもってYu-DXプログラムの中の「ＤＸ概論」及び「地域学」を受講したものとします。

＊１　Yu-DXプログラムで指定する「知の広場」を受講しない学生（教育学部，国際総合科学部，医学部医学科，工学部の一部の学生）で，Yu-DXへの参加を希望する学生には，「ＤＸ概論」の授業で必要な部分を補講します。

＊２　ＤＳとは「データサイエンス」の略称です。

＊３　PBLとはProject Based Learningの略称で，課題解決型学習のことです。

＊４　データサイエンス技術関連科目について

自学部自学科に該当する科目がない学生で，「データサイエンス技術」の受講を希望する場合は，共通教育科目の総合科目「データサイエンス応用基礎Ⅰ・Ⅱ」もしくは理学部の該当授業を履修することができます。ただし，受講者数制限のため，希望のクラスを受講できない場合があります。なお，理学部の授業を希望する方は，受講希望者へ事前にアンケートを行います。

【カリキュラム編成例：人文学部の学生の場合】

1年次		2年次		3年次
前期	後期	前期	後期	前期
知の広場 データ科学と社会Ⅰ データ科学と社会Ⅱ 知的財産入門	山口と世界	ＤＸ概論 地域学	後期集中 知財展開科目 （知的財産管理論）	DXPBL

【カリキュラム編成例：理学部の学生の場合】

1年次		2年次		3年次
前期	後期	前期	後期	前期
知の広場 データ科学と社会Ⅰ データ科学と社会Ⅱ 知的財産入門	山口と世界	ＤＸ概論 データサイエンス技術 （理学部自学科の科目を受講）	後期集中 知財展開科目 （知的財産管理論）	DXPBL

（3）プログラム受講方法

本プログラムの参加希望者は，後日お知らせする申請方法により，プログラム参加希望の申込を行ってください。時期としては，「知の広場」の授業終了後，**１年生前期（４月）から募集開始し，以降申込は随時受け付けます**（各科目の履修方法については，プログラムを申込いただいた後，改めてお知らせいたします）。

また，興味のある授業科目のみ受講することも可能です。

（4）Yu-DXプログラムの修了証について

３年前期に開講されるDXPBLの単位を修得後，Yu-DXプログラムの単位をすべて修得した学生においては，『Yu-DXプログラム修了証』を発行します。お渡し方法などについては，後日お知らせします。

＊なお，プログラムの申込をしていない場合でも，規定の単位取得により，修了証の発行が可能です。修了証の発行を希望する場合は，随時，お問い合わせください。

（Yu-DXプログラム問い合わせ先）
DX人材育成推進室（教育支援課教育連携係）
Mail：ga110@yamaguchi-u.ac.jp
TEL：083-933-5233

Ⅵ．共通教育科目の履修上の注意

1　教養コア系列科目の履修について

（共同獣医学部および国際総合科学部は，この項目の内容は該当しません）

教養コア系列には「基礎セミナー」，「データ科学と社会Ⅰ」，「データ科学と社会Ⅱ」，「知的財産入門」，「運動健康科学」，「山口と世界」，「知の広場」，「キャリア教育」の各授業科目が用意されており，すべて必修科目です。

この系列の授業科目は，１年生の場合，１年間に１度しか履修することができません（「データ科学と社会Ⅰ」，「データ科学と社会Ⅱ」を除く）。

（1）「基礎セミナー」について

所属する学部学科等によっては，「基礎セミナー」のなかで，「フレッシュマンセミナー（新入生セミナー）」を行います。大学教育に関するオリエンテーション，履修指導および教員・在学生との話し合いなどを通じて勉強の仕方や学生生活一般について学ぶとともに，新入生同士および学生と教員相互の親交を深めることを目的としたものです。

（2）情報処理分野について

「データ科学と社会Ⅰ」（前期クォーター1）および「データ科学と社会Ⅱ」（前期クォーター2）は，必修科目です。履修クラスは，所属や学生番号等に基づいて指定されます。履修登録の際は，登録内容に誤りがないよう十分注意してください。

開設科目名	授　業　内　容	単　位
データ科学と社会Ⅰ	現代社会におけるデータ科学の重要性を理解し，その基礎となるデータリテラシー（データを的確に理解し，分析する能力）を修得することを目指します。	１単位
データ科学と社会Ⅱ	データおよびAIを活用する上で必要となる法規および倫理，情報セキュリティに関する基礎知識を学びます。また，学術分野や産業界におけるデータやAIの活用事例についても学び，これらの知識を実社会に応用する力を養います。	１単位

※前期に単位修得できなかった場合は，後期に開講される同科目を再履修してください。

これらの２科目は，本学のデータサイエンスに関するリテラシーレベル教育プログラム「データ科学と社会」を構成しており，このプログラムは文部科学省が定める数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）の認定を受けています。この認定は，大学でデータサイエンスおよびAIの基礎的な知識を確実に修得するための指針となっています。

『データ科学と社会Ⅰ』，『データ科学と社会Ⅱ』は開講期（クォーター）が異なる別の授業です。必ず個別に履修登録してください。

（3）「知的財産入門」について

クラス指定された曜日および時限のクラスを受講してください。

理学部物理・情報科学科の学生は，２年次に履修してください。

（4）「運動健康科学」について

クラス指定された曜日および時限のクラスを受講してください。

各クォーター，各曜日時限の第１回の授業で，重要な本授業の説明がありますので，必ず出席してください。

本授業は実習を含む場合があるため，実施場所を変更することがあります。第１回の授業に出席できなかった学生は，第２回の授業までに必ず担当教員と連絡を取ってください。

（5）キャリア教育分野の履修について

「知の広場」は１年次に，「キャリア教育」は原則として高年次に履修してください（教育学部および医学部医学科は１年次に履修）。「キャリア教育」の履修年次については，各学部『履修の手引』を参照してください。

「知の広場」（キャリアデザイン）については，隔週で行われます。対象学部の学生は，下表のとおり**指定の授業開始日**に集合してください。各授業開始日に授業実施日の連絡があります。指定のクラス以外で受講しても，出席確認システムで欠席扱いとなりますので注意してください。なお，教育学部，医学部および工学部の学生のうち指定された学生は，別途開講されるクラスでの受講となります。

「知の広場」（キャリアデザイン）（教育学部および医学部医学科除く）授業開始日一覧表

学　　期	曜日時限	授業開始日	対 象 学 生
前　　期	水７・８	令和７年　4月　9日	経（001-193）・人（001-095）・学環（001-020）
		令和７年　4月16日	人（096-）・経（194-）・医（保健（看護・検査））・学環（021-）
後　　期		令和７年10月　1日	理（数理・生物・化学）・工（機械・社建・応化）・共獣
		令和７年10月　8日	理（物情・地球）・工（電気・知能・感性・循環）・農

※授業は隔週で実施されます。初回授業日に配付される日程表を確認のうえ，間違えないように受講してください。
※対象学生の（　）内の数字は，学籍番号の【25-●●●●-●●●-●】の下線部を指します。詳しくは，P.33【（2）クラス指定の授業科目について】を確認してください。
※対象学生の略称表記については，『共通教育時間割表』を参照ください。

（6）「山口と世界」の履修について

クラス指定された曜日および時限のクラスを受講してください。

理学部物理・情報科学科の学生は，２年次に履修してください。

2　英語系列科目の履修について

（国際総合科学部はこの項目の内容は該当しません。共同獣医学部は（５）以外の項目の内容は該当しません）

（1）英語のカリキュラムについて

英語によるコミュニケーションを行うということは，グローバル化の時代といわれる21世紀を生きる学生のみなさんにとって，必要不可欠なものになっています。

本学の英語のカリキュラムは，英語の運用実用能力の養成を基本として，「読む・書く・聴く・話す」の４技能を中心とした英語の総合力を身につけるものとなっています。

自分の英語習得レベルに応じた，少人数（20～40人程度）の授業を受講してもらうために，共通テスト「外国語（英語）」の結果でクラス分けを行います。共通テストの英語を受験していない場合は入学時のVELCテストを用いたプレースメント・テストの結果でクラス分けを行います。

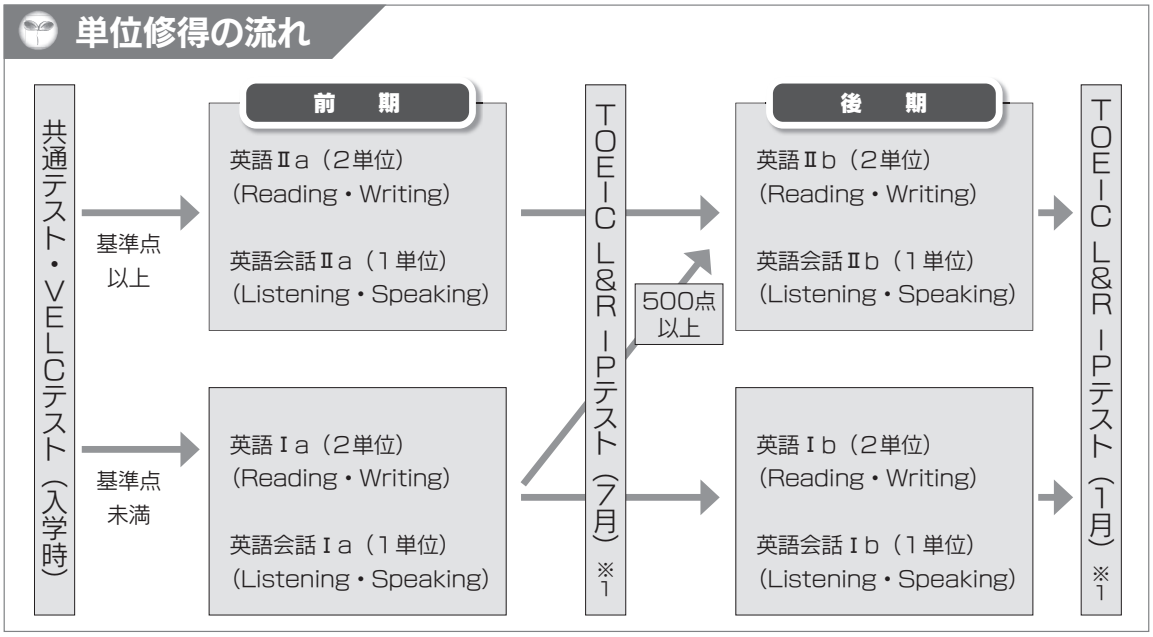
（2）単位修得の流れについて

英語のカリキュラムにおける単位修得の流れは，以下のとおりです。

共通テスト「外国語（英語）」または入学時のVELCテストの結果により，「英語Ⅰa」&「英語会話Ⅰa」または「英語Ⅱa」&「英語会話Ⅱa」を履修することになります。ただし，クラス分けの基準点については，所属学部・学科等の得点分布状況によって異なります。教育支援課教務係で履修登録を行いますので，修学支援システムで自分がどのクラスになったのか確認してください。なお，「英語Ⅰa」「英語会話Ⅰa」を履修している学生のうち，前期終了時のTOEIC L&R IPテストを受験し，所定の基準点（500点）以上を取得した場合は，後期から「英語Ⅱb」及び「英語会話Ⅱb」を受講することができますので，希望者は教育支援課教務係に申請してください。

特別な場合を除き，前期は７月，後期は１月に行われるTOEIC L&R IPテストを受験しなければ，英語科目の各単位が無効となり，英語科目の単位（「英語」前後期各２単位，「英語会話」前後期各１単位）の修得ができなくなりますので，必ず受験してください（※１）。成績評価対象となるTOEICについては，前期科目は前期中（後期科目は後期中）に実施されたTOEIC L&R IPテスト又は公開テストを受験した場合，そのうちの最高スコアが対象となります（※２）。ただし，成績が認められるためには，前期は７月，後期は１月に行われるTOEIC L&R IPテストを必ず受験する必要がありますので留意してください。

クラス分けに応じて，下記のとおり４科目６単位を履修し，単位を修得してください。



※２　TOEIC L&R IPテスト及びTOEIC L&R公開テスト

※１：真にやむを得ない理由で７月及び１月に実施されるTOEIC L&R IPテストを受験できない場合は，原則として，試験当日の受付終了時（入室限度時刻）までに教育支援課教務係まで連絡してください。（TOEIC追試験手続についてはP.35「追試験について」を準用します。）

※２：前期又は後期の評価となるTOEIC L&R IPテスト及びTOEIC L&R公開テストについては，各定められた期間内に受験したもののうち，最高スコアを評価として使用します。期間については別途周知します。

（3）成績評価，授業時間外の学習について

英語の授業科目の単位の評価については，定期試験の成績やパフォーマンス評価等並びにTOEICスコア及びE-learningの学習状況による加点により厳格に行われます。また，それぞれの授業においても，相当量の課題が提示されます。したがって，単位を修得するためには授業時間外の学習が不可欠となります。英語能力を高めるために，単に授業を受けるだけではなく，授業時間外の学習を怠らないように努めましょう。

（4）令和７年度　TOEIC L&R IPテストスケジュール（予定）

年間スケジュールは掲示等でお知らせします。以下は７月と１月の予定のみ記載しています。

TOEIC L&R IPテスト等の受験料は，学生の自己負担となっています。受験手続きは，各回の申込期間前に修学支援システムのお知らせで周知しますので，確認してください。

なお，一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会主催の公開テストについては，TOEIC公式ホームページ［（財）国際ビジネスコミュニケーション協会］を参照してください。

【TOEIC L&R IP テスト　山口大学主催】学内

実 施 日	申込場所／問合せ窓口
令和７年　７月１２日（土） **令和７年　７月１３日（日）** （※）所属学部・学科及び学年毎に受験日を指定して，いずれかの日で受験していただきます。	大学生協ショップ／ 各学部学務（教務）係・教育支援課教務係 （共同獣医学部及び国際総合科学部以外の１年生は必須です）
令和８年　１月２４日（土） **令和８年　１月２５日（日）** （※）所属学部・学科及び学年毎に受験日を指定して，いずれかの日で受験していただきます。	大学生協ショップ／ 各学部学務（教務）係・教育支援課教務係 （共同獣医学部及び国際総合科学部以外の１年生は必須です）

（5）TOEICスコアの卒業要件の基準点について

所属学部・学科によっては，以下のように，卒業要件として取得すべきTOEICスコアの基準点が定められています。詳細については，各学部の『履修の手引』を参照してください。

所　属　学　部　・　学　科　等		卒業要件	備　　考
人文学部		なし	
教育学部		なし	
経済学部		400	詳細は学部『履修の手引』参照
理学部	数理科学科	なし	
	物理情報科学科	なし	
	化学科	350	
	生物学科	350	
	地球圏システム科学科	350	4年次進級時に350点必要
医学部	医学科	500	4年次修了時までに500点必要
	保健学科	400	進級要件については学部『学生要覧』参照
工学部		350	4年次進級時に350点必要
農学部		なし	
共同獣医学部		なし	英語の成績評価の一部に利用
ひと・まち未来共創学環		なし	

（6）TOEFL iBTにおける卒業・進級要件の基準点（TOEIC点）について

TOEFL iBTを受験した学生は，取得したスコアに基づき，以下のとおりTOEIC L&Rスコアを取得したものとみなします。

TOEIC L&R	TOEFL iBT
350	—
400	41
500	45
600	61

（7）卒業・進級要件のためのTOEICスコアの事務取扱いについて

卒業・進級要件のためのTOEICスコアについては，山口大学主催で実施されるTOEIC L&R IPテストを受験した場合，その取得スコアに基づき概ね３月から８月までに受験した場合は前期に，９月から２月までに受験した場合は後期に，卒業・進級要件のスコアとして自動的に認定しますので，窓口での届出は不要です。ただし，休学中に受験した場合は，復学した学期に自動認定されます。なお，TOEIC公開テスト，TOEFL iBTについては，卒業要件や進級要件の基準となるスコアを取得した場合，基準点の判定対象スコアとするには届出が必要ですので，教育支援課教務係窓口で手続きをしてください。各学期の届出締切日は，掲示でお知らせします。

また，対象となるTOEICスコアは，入学後に受験した山口大学主催で実施されるTOEIC L&R IPテスト，国内外のTOEIC公開テスト，TOEFL iBT※で取得したものに限ります。

※　TOEFL iBTからTOEICスコアの350への換算基準はありません。TOEFL iBTで41点以上を取得した場合，各学部卒業・進級基準TOEICスコア350を満たすものとします。

3　一般教養系列科目の履修について

（共同獣医学部および国際総合科学部は，この項目の内容は該当しません）

一般教養系列には「人文教養領域」，「社会教養領域」，「自然教養領域」および「学際的教養領域」の授業科目が用意されており，すべて必修科目です。また，すべてクォーター授業となり，一部クラス選択科目がありますので，時間割作成には注意してください。ホームページ掲載の『共通教育時間割表』で「◎」で表示されたクラス選択科目は，**抽選登録によるクラス選択**が必要です。特に注意してください。

なお，クラス選択科目において，抽選登録後の抽選処理によって落選となったクラスを間違って受講した場合や，登録をし忘れた場合は，単位は出ませんので注意してください。必ず修学支援システムにより当選したクラスの担当教員，講義題目，講義室等を確認して受講してください。

この系列の授業科目も教養コア系列科目と同様，１年生の場合，**１年間に１度しか履修することができません。**

クォーター２および４（後半期）の授業開始日は，第９週目（本紙表紙裏「学年暦」に記載）となります。

工学部の学生は，「環境と人間」が２年次に履修指定されています。

理学部物理・情報科学科の学生は，うち９科目が２年次に履修指定されています。

詳しくは，学部の「履修の手引」をご確認ください。

抽選登録期間（P.10 参照）**に要注意！**

4　専門基礎系列 理系基礎分野（数学）のプレースメントテストについて

（工学部以外の学部は，この項目の内容は該当しません）

（1）対象学部・学科

工学部全学科

（工学部以外の学生を対象とした数学のプレースメントテストは行われません）

（2）プレースメントテストの趣旨

工学部学生が履修すべき数学の基礎的学力の到達度を測り授業計画に用いるため，数学のプレースメントテストを実施します。プレースメントテストの結果が一定の基準をクリアしていない場合は，２コマ続けて行われるAクラスの「数学Ⅰ」を履修することになります。

（3）数学の履修について

プレースメントテストの結果をもとに，クラス分けが行われます。クラス変更は認めませんので，必ず指定されたクラスで履修してください。クラス分けは，掲示にて発表します。

5　専門基礎系列 理系基礎分野（実験系授業科目）の履修について

（理学部・医学部・工学部・農学部以外の学部は，この項目の内容は該当しません）

（1）実験系授業科目の履修について

実験系授業科目の履修については，各学部の『履修の手引』に掲載されている共通教育カリキュラムおよび以下の一覧表を参照して履修してください。

※科目によっては，抽選となる場合があります。

学　期	曜　日	時　限	授業科目	対　象　学　生　等（クラス）
前期	月	7～10	生物学実験	○物情，○化学，◎生物
	火	5～8	物理学実験Ａ	○化学，○生物，○地球
	木	5～8	化学実験Ａ	○物情，○地球，○生資，○生機
			地球科学実験	○物情
	金	5～8	物理学実験Ｂ	◎機械，◎応化，◎循環
			化学実験Ｂ	◎機械，◎応化，◎循環
後期	月	5～8	生物学実験	◎生資
		7～10	地球科学実験	◎地球
	木	5～8	物理学実験Ａ	○化学，○生物，○生資，○生機
			物理学実験Ｂ	◎医学
			化学実験Ａ	◎化学，○生物
			化学実験Ｂ	◎医学
	金	5～8	物理学実験Ｂ	◎社建，◎電気，◎知能，◎検査
			化学実験Ｂ	◎社建，◎電気，◎検査
			生物学実験	◎生機

（注）対象学生等において，学科等の略表記（『共通教育時間割表』のクラス表記参照）に付した記号については，以下のとおりです。
◎：当該授業科目を必修科目とする学科等
○：当該授業科目を選択必修科目とする学科等

（2）実験オリエンテーション・ガイダンスについて

実験の種類によっては，各学期の授業開始前や初回の講義等に，実験オリエンテーション・ガイダンスを行いますので，履修を希望する学生は，必ず出席してください。

「化学実験Ａ・Ｂ」と「物理学実験Ａ・Ｂ」の会場は，共通教育棟の講義室で行うことがありますので，注意してください。詳細については，授業開始前に掲示等でお知らせします。

なお，このオリエンテーション・ガイダンスに出席していない学生については，**当該授業科目の履修を認めないことがあります。**

（3）実験の連絡事項について

実験の連絡については，各実験室前の掲示板にて行う場合があります。

「化学実験Ａ・Ｂ」は４Ｆ化学実験室前掲示板，「物理学実験Ａ・Ｂ」は３Ｆ物理学実験室前掲示板にて実験スケジュールや班分け名簿等を掲示しますので，見落とし等のないように留意してください。

（4）実験に必要な費用について

実験に必要な費用については，その一部を負担してもらうことがあります。

（5）実験に必要な着用物について

化学実験では，毎回，白衣・保護眼鏡の着用が必須です。白衣を忘れた場合，実験室へ入室できません。

物理学実験・生物学実験・後期地球科学実験では，白衣（保護眼鏡）が必要な回があります。

〈白　　衣〉　購入について，所属学部・学科の指示があればそれに従ってください。指示がない場合は，個人で購入してください。

〈保護眼鏡〉　実験室に備えてありますが，共用になりますので，個人で購入されても結構です。

白衣・保護眼鏡は，FAVO２階FAVO-BOOKSで購入可能です。またはネットショップなどで購入されても結構です。

（6）実験「B」の履修について

「化学実験Ｂ」および「物理学実験Ｂ」は，履修者をグループ分けし，あるグループはクォーター１または３で「化学実験Ｂ」，クォーター２または４で「物理学実験Ｂ」を行い，別のグループはクォーター１または３で「物理学実験Ｂ」，クォーター２または４で「化学実験Ｂ」を行います。**履修登録する際は，受講順序に関わらず，クォーター１または３の履修登録期間内に，必ず両方の実験科目を履修登録してください。**

知能情報工学科は「物理学実験Ｂ」のみ必修です。クォーター４で受講の学生も，クォーター３の履修登録期間内に履修登録してください。

なお，履修者のグループ分けについては，掲示等でお知らせします。

曜日時限	授業科目	学科	学籍番号
前期クォーター１			
金 5～8	物理学実験Ｂ	機械 応化 循環	後半
	化学実験Ｂ	機械 応化 循環	前半
前期クォーター２			
金 5～8	物理学実験Ｂ	機械 応化 循環	前半
	化学実験Ｂ	機械 応化 循環	後半

曜日時限	授業科目	学科	学籍番号
後期クォーター３			
木 5～8	物理学実験Ｂ	医学	後半
	化学実験Ｂ		前半
金 5～8	物理学実験Ｂ	社建 電気 知能 検査	後半
	化学実験Ｂ	社建 電気 検査	前半
後期クォーター４			
木 5～8	物理学実験Ｂ	医学	前半
	化学実験Ｂ		後半
金 5～8	物理学実験Ｂ	社建 電気 知能 検査	前半
	化学実験Ｂ	社建 電気 検査	後半

6　日本語の履修について

（留学生以外の学生は，この項目の内容は該当しません）

（1）「日本語」について

共通教育科目では，外国人留学生のための授業科目として，「日本語」を開設しています。修得した「日本語」の単位数の取り扱い等については，各学部の教務（学務）担当係に確認してください。

（2）「日本語」の履修について

「日本語」の履修を希望する学生は，以下のようにしてください。

①前の学期に「日本語」を履修した者：授業担当教員に，自分がどの科目を履修可能か，メールで問い合わせてください。

②前の学期に日本語を履修しなかった者（山口大学に留学して最初の学期の者を含む）：山口大学日本語レベルチェックテストを受験してください。テストの結果によって，履修可能なクラスが指定されます。

（3）山口大学日本語レベルチェックテストについて

山口大学日本語レベルチェックテストは，山口大学留学生センターが開発した日本語レベル判定のテストです。日本語プレースメントテストとして１年に２回実施しています。日時や場所などは，留学生用メーリングリストや『日本語履修案内』で通知します。レベルチェックテストや日本語の授業の詳細については，国際交流課留学生交流係でお問い合わせください。

7　教育職員免許状について

（1）教育職員免許状取得に必要な共通教育科目

教育職員免許状の取得を希望する学生は，所属する学部学科等において開設されている教職課程関連の授業科目のほか，以下の共通教育科目の単位を修得する必要があります。

教育職員免許状取得に必要な共通教育科目

① 日本国憲法 …… 2単位
② 運動健康科学 …… 1単位
③ スポーツ運動実習 …… 1単位
④ 英語会話Ⅰａ・英語会話Ⅰｂ・英語会話Ⅱａ・英語会話Ⅱｂから …… 2単位
⑤ データ科学と社会Ⅰ …… 1単位
⑥ データ科学と社会Ⅱ …… 1単位

履修上の注意

●「日本国憲法」の履修について

① 「日本国憲法」を必修とする教育学部の１年生，および教育職員免許状取得のために履修する１年生は，所属学部学科等ごとに受講可能な曜日・時限が指定されていますので，クラス指定された曜日・時限に履修してください。

② 対象学生について
教育職員免許状取得を希望しない１年生は，履修できません。

●「スポーツ運動実習」の履修について

① 対象学生について
教育職員免許状取得を希望しない１年生は，履修できません。ただし，教育学部の学生は，必ず全員履修してください。

② 「スポーツ運動実習」を必修とする教育学部の１年生，および教育職員免許状取得のために履修する１年生は，所属学部学科等ごとに受講可能な曜日・時限が指定されていますので，クラス指定された曜日・時限に履修してください。

③ 選択種目の決定について
「スポーツ運動実習」の履修を希望する学生は，各学期，各曜日時限の第１週目の授業で，選択種目および担当教員を決定しますので，第１回目は第１体育館に必ず集合してください。事前の履修登録は不要です。
第１週目の授業は，種目の割振りのみになりますので，服装は普段着で構いませんが，できるだけ体育館シューズを持参してください。なお，履修希望者多数の場合には，抽選等により履修制限を行います。

スポーツ運動実習⇒第１回目は第１体育館に集合

●「英語会話」の履修について
英語系列科目の履修方法（Ｐ.25参照）に従って，「英語会話Ⅰa」・「英語会話Ⅰb」・「英語会話Ⅱa」・「英語会話Ⅱb」から２単位を修得してください。

（2）教育職員免許状取得に必要な教職課程関連授業科目等について

教育職員免許状は，所属する学部学科等により，取得できる免許状の種類や教科が異なります。また，単位修得が必要な教職課程関連の授業科目の履修方法は，学部学科等，取得を希望する免許状ごとに異なりますので，所属学部の履修の手引き等を熟読し，各学部の指導に従ってください。

また，教職課程は，段階的で体系的なカリキュラムとなっています。１年次開設科目は，１年次のうちに履修することが原則です。１年次に履修可能な授業科目とその開設期を確認し，履修もれがないようにしてください。

教職課程の履修を本格的に開始するのは，１年次の後期です。11月に開催予定の教職オリエンテーションには，必ず参加してください。教職オリエンテーションには，事前の参加申込が必要です。詳細は，７月下旬にお知らせします。

養護教諭二種免許状の取得を希望する場合

医学部保健学科の学生は，保健師の免許を基礎に，養護教諭二種免許状を取得することができます。大学で養護教諭免許状の課程を開設しているわけではありませんので，いわゆる教科及び教職に関する科目の履修や教職オリエンテーションへの参加は不要ですが，（１）に示した共通教育科目については履修が必要です。

Q：教育職員免許状を取得したいのですが？

A：　教育職員免許状については，免許状の種類（小学校や中学校等）や教科（数学や英語等）により区分されています。教員免許を取得する学生のみなさんは，所属する学部において開設されている教職科目の単位を修得しなくてはなりません。そして，「教育実習」を行い，４年次後期に「教職実践演習」を修得しないといけません。また，小学校または中学校の教育職員免許状の取得を希望する学生のみなさんは，「介護等の体験実習」も必要となります。教育学部を除く学部等に所属する学生のみなさんは，教職科目等の単位については，卒業に必要な単位に算入されないものがあります。１年次からの計画的な履修を心がけるとともに，相当の覚悟と努力が必要となります。

8　教養展開科目について

教養展開科目は，〝発見し・はぐくみ・かたちにする〟ための発展的教養を習得するため，「国際展開」，「地域展開」，「知財展開」，「ユニバーサルデザイン展開」，「Yu-DX」，「時間学」の各授業科目が用意されており，所属する学部により卒業要件が異なります。詳しくは各学部の『履修の手引』をご覧ください。

【1】国際展開分野

国際展開科目

TOEIC 400点に到達することを目標とする授業，TOEIC 730点に到達することを目標とする授業，英語で行う授業等，国際的に活躍するための教養と技能を習得できる授業があります。

【2】知財展開分野

知財展開科目

知的財産に関する様々な法律（著作権法，特許法等），農業における知的財産権の役割と機能，知的財産に関する情報収集とその分析に必要な知識とスキル獲得を目指した授業等，様々な授業があります。

【3】地域展開分野

地域展開科目

地域の課題を理解し，その将来あるべき姿について考察する力を養う授業等があります。

【4】ユニバーサルデザイン展開分野

ユニバーサルデザイン展開科目

障害者支援やアクセシビリティについての幅広い知識や支援技術を習得し，障害者と社会とを結びつけるコーディネーター的な役割を担う力を養うための授業で，アクセシビリティや障害者支援の基礎的知識を学ぶ授業や，

自律的に支援やコーディネートに取り組める人材を育成するための演習，支援スキルを学ぶための実習等があります。

【5】総合展開分野

総合展開科目

分野横断的な学習や新しい分野等の学習により総合的・多角的な視野を身につけ，多様な社会に対応するための力を養います。

【6】Yu-DX分野

地域学，DX概論，DXPBL

大学が実施するDX人材育成プログラム"Yu-DXプログラム"の一部となる授業科目で構成され，地域課題への理解，DXの概念，実践力を身に付ける授業を行います。Yu-DXプログラムについての詳細は，P.20をご確認ください。

【7】時間学分野

時間学１，時間学２

山口大学の特色の一つである『時間学』を体系的に学びます。

文系・理系の両方に関わる時間学を学ぶことで，時間に関する知識を得るだけでなく，豊かで柔軟な考え方を習得します。

9 その他の履修上の注意

（1）履修科目の登録の上限

① 履修科目の登録の上限とは

履修科目の登録の上限とは，前期または後期において，履修登録できる授業科目（専門科目を含む）の総単位数に上限を設定することをいいます。履修登録の上限を設定することは，前期または後期において，履修登録できる授業科目数を制限することによって，学生のみなさんに無理な負担を強いることなく，十分な学習効果を上げる学習環境をつくることを目的としています。この上限単位は，当該期の履修登録する卒業に必要な科目のうち，共通教育科目と専門科目の単位の合計にて計算します。

なお，履修科目の登録の上限については，所属する学部や学科により異なっていますので，履修登録の際には，以下の表を参照しながら上限の単位数を超えないように履修登録をしなければなりません。

学部	学科・課程	履修登録上限単位数		備考
		前期	後期	
人文学部	人文学科	26単位	26単位	
教育学部	すべてのコース・選修	30単位	30単位	
経済学部	すべての学科	26単位	26単位	
理学部	すべての学科	30単位	30単位	
医学部	医学科	60単位		1年間の合計の上限単位数
	保健学科	50単位		1年間の合計の上限単位数
工学部	すべての学科	30単位	30単位	
農学部	すべての学科	30単位	30単位	
共同獣医学部	共同獣医学科	50単位		1年間の合計の上限単位数
ひと・まち未来共創学環		30単位	30単位	

② 上限単位数に含まれない授業科目

履修科目の登録の上限の単位数に含まれない授業科目については，所属する学部により異なっていますので，所属する学部の教務（学務）担当係の指示に従ってください。

なお，共通教育科目においては，履修科目の登録の上限の単位数に含まれない授業科目は次頁のとおりです。

上限単位数に含まれない共通教育科目

- 単位認定された授業科目（既修得単位認定）
- 共通教育科目の集中講義
- その他，共通教育科目における卒業に必要な単位に算入されない授業科目

（2）クラス指定の授業科目について

授業科目には，学部および出席番号（学籍番号の【25-●●●●-●●●-●】の下線部）によりクラス指定されているものがあります。クラス指定された授業科目については，該当する対象学生用に授業内容が構成されていますので，該当学生以外履修することはできません。ただし，２年次以上の学生は，必修科目や専門科目と重複するなどの特別な理由がある場合に限り，これによらず希望クラスを受講することができます。ただし，２年次以上の指定があるものは指定の次の年次から，特別な理由がある場合は，希望するクラスを受講できます。その場合は，担当教員にその旨を申し出てください。クラス指定については，『共通教育時間割表』を参照してください。

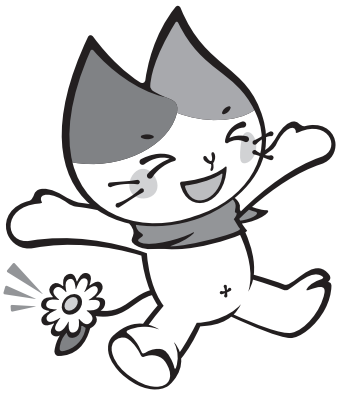
（3）重複履修の禁止

同一の期間・曜日・時限において，２つ以上の授業科目を重複履修することは原則できません。重複履修の場合には，そのすべての単位を無効とします。

（4）既修得授業科目の再履修について

すでに単位を修得した授業科目を再び履修し単位を修得しても，卒業に必要な単位に加算することはできません。

また，すでに単位を修得した科目の評価については，再び単位を修得したとしても過去の評価を改変することはできません。つまり，『可』の評価であったものについて，再履修により『優』の評価を受けたとしても，『可』の評価に『優』の評価を加えることになります（『可』の評価を抹消することはできません）。



Ⅶ. 共通教育の定期試験について

1 定期試験について

（1）定期試験

共通教育科目の定期試験については，原則としてクォーター科目は第７または第８週目に，セメスター科目は第15または第16週目に，筆記試験により実施します。ただし，担当教員によっては，定期試験に代えて，レポート等の提出や実技・演習等により行われることもあります。

なお，担当教員によっては，中間試験等を実施することもありますので，各授業時間内におけるお知らせや掲示，修学支援システム内の連絡事項等に注意しておいてください。

Q：大学の定期試験は，どのように実施されるの？

Ａ：　大学の定期試験については，授業内容に沿った筆記試験を行うものが多いですが，定期試験を実施しない科目や，定期試験の代わりに，レポートを提出させたりする科目もあります。また，筆記試験に際しても，テキストやノートの持込を許可している科目もあります。このように，大学の定期試験は，高等学校の定期試験と異なり，教員ごとに，多種多様な形式により実施されます。授業ごとの定期試験の有無については，共通教育シラバスに記載されていますので，最初に確認しておくとよいでしょう。また，授業に出席していると，教員から定期試験のヒントを得られたりすることもあります。教員や友人・先輩からいろいろな情報をキャッチして，その情報に基づいて，きちんと学習に取り組んでいけば，きっと良い結果を期待できるはずです。それから，定期試験の際には，決してカンニング（不正行為）を行わないでくださいね。試験監督者に聞いてみると，「態度や仕草を見ていれば，カンニングをしている学生は，すぐにわかる！」そうですよ。

（2）定期試験の時間割発表

共通教育科目における定期試験の時間割の発表は，定期試験開始日の１週間前に修学支援システムにより通知を行います。**試験教室が講義時の教室と異なることがあります**ので，必ず確認してください。

なお，専門科目の定期試験の時間割等については，所属する学部の指示に従ってください。

2 定期試験の受験上の注意

（1）不正行為

定期試験等において，不正行為を行った学生については，その行為が発覚した時点から謹慎処分となり，原則その学期における当該学生の履修した授業科目すべての単位が無効となる上，学則により相応の懲戒処分を受けることになります。

（2）学生証の提示

定期試験を受験する際には，必ず学生証を持参し，机の上に提示してください。学生証を忘れた学生については，定期試験を受験することができません。

もし忘れた場合は，「試験臨時学生証」を発行しますので，教育支援課教務係もしくは所属学部の学務係／教務係に申し出てください。

（3）試験室の入室等について

試験室には，試験開始時刻の５分前に入室し，他の学生と隣り合わないように，横に一人分のスペースを空けて，着席してください。

なお，担当教員により座席指定されている場合には，指定された座席に着席してください。

（4）定期試験時間中の所持品等について

筆記用具およびあらかじめ許可されたもの以外のものについては，机上に置くことはできません。定期試験に必要としない所持品（筆箱および下敷き等を含む）等については，かばんの中に入れ，机の下に置いてください。

特に，携帯電話については，電源を必ずオフにして，その他の所持品等と同様に，かばん等の中に入れてください。原則として，携帯電話を時計代わりに使用することは禁止されています。

（5）遅刻者および退出者の取り扱い

試験開始から20分以上遅刻した学生については，受験することができません。

また，試験開始から30分以上経過するまでは，試験室から途中退出することができません。

（6）その他の注意事項

定期試験の解答用紙には所属学部・学科等，学籍番号および氏名を最初に明記してください。これらを記入していない答案については，無効となることがありますので注意してください。

また，定期試験時間中に，試験監督者の指示および注意事項を遵守しない学生については，退席を命じられることがあります。

3　追試験について

（1）追試験とは

追試験とは，定期試験を受験できない事由のある学生を対象として，学生本人の申請に基づき，その事由を『真にやむを得ない事由』として認める場合に限り実施する試験です。追試験願を提出したからといって，必ずしも追試験が認められる訳ではありません。

（2）『真にやむを得ない事由』および申請に必要な証明書類

追試験の対象となる『真にやむを得ない事由』については，以下のとおりです。

なお，追試験を申請する際には，それぞれの事由に該当する証明書類を必ず提出してください。

『真にやむを得ない事由』	必 要 な 証 明 書 類
疾病	医師の診断書等
忌引（２親等内の親族に限る）（注）	会葬御礼の書面等
不慮の事故	第３者の証明（交通事故の場合は事故証明書）
その他教育支援センター長が，真にやむを得ない事由であると認めた場合 例）公共交通機関の事故または遅延 国家（地方）公務員試験の第２次試験受験	追試験を必要とする経緯を示した書面等 例）公共交通機関発行の事故（遅延）証明書 第１次試験の合格通知書

（注）共通教育における忌引の期間は，配偶者または父母：７日以内，子：５日以内，配偶者の父母：３日以内，２親等の親族：３日以内とする。

（3）追試験の申請手続

原則として，事前に『共通教育科目追試験願』に所定事項を記入し，受験することができない事由を証明する書類を添付して教育支援課教務係に提出してください。事前に申請することが時間的に困難な場合には，該当する授業科目の定期試験開始前までに，教育支援課教務係に連絡し，了承を得てください。この場合の申請書類については，該当する授業科目の定期試験実施日から１週間以内に，教育支援課教務係に提出してください。

なお，専門科目については，所属する学部の教務（学務）担当係で手続してください。ただし，医学部および工学部の１年生については，教育支援課教務係で手続してください。

『共通教育科目追試験願』の様式は，共通教育ホームページにも掲載していますので，確認してください。

（4）追試験の実施

追試験については，当該の学期の定期試験終了後に，速やかに実施します。

なお，追試験の実施日時および試験室等については，教育支援課教務係から申請者本人に連絡します。

4　成績について

（1）成績の通知について

当該期の成績は，修学支援システム内で成績開示日以降に閲覧することができます。成績が開示される日程は，学部毎に異なります。所属する学部の教務（学務）担当係から，掲示等により日程をお知らせします。

なお，教育支援課教務係においては，いかなる事由によっても，個別に成績を通知することはありません。

（2）成績の見方について

成績は，共通教育シラバスに掲載されている各授業科目における担当教員の成績評価方法（定期試験（中間試験および期末試験）の成績，小テスト，レポート，宿題，授業態度等）によって，100点法により算出されます。

担当教員の評点に基づいて，60点以上の場合はその授業科目を合格とし，単位を修得することができますが，59点以下の場合にはその授業科目を不合格とし，単位を修得することができません。なお，担当教員の評点に基づく成績の評語については，次表のとおりです。

評　語	評　点	評　価　基　準	合否種別
秀	１００点　～　９０点	授業の到達目標を十分に達成した上で，極めて優秀な成績を修めている	合　格
優	８９点　～　８０点	授業の到達目標を十分に達成している	
良	７９点　～　７０点	授業の到達目標を達成している	
可	６９点　～　６０点	授業の到達目標を最低限達成している	
不可	５９点　～　０点	授業の到達目標を達成していない	不合格

（3）認定単位について

評点で評価されない科目（例　他大学等での既修得単位の認定等）では，評語「認定」を用いてその科目が合格していることを表します。

（4）GPAについて

GPA（Grade Point Average）とは，習得した成績の平均値のことです。本学では，履修登録した科目毎の５段階評価（秀・優・良・可・不可を４から０までのGP（Grade Point）に置き換えて修得単位数を掛け，その合計を履修登録単位数の合計で割った平均値となります。

GPAの計算方法は次のとおりであり，小数点以下第二位未満の端数がある場合は切り捨てます。

GPA＝(4×「秀」の修得単位数＋3×「優」の修得単位数＋2×「良」の修得単位数＋1×「可」の修得単位数)÷履修登録単位数

（5）成績の自己管理

卒業するまでの成績および単位数については，修学支援システム内の成績照会等にて，自己の責任により自分の単位修得状況等を正確に把握しておいてください。

成績の自己管理を怠っていると，単位数の修得状況の勘違い等により卒業（進級）できない事態を招きかねませんので，注意してください。

（6）成績表などに関する問い合わせ

共通教育科目の成績表などに関する問い合わせについては，教育支援課教務係に申し出てください。

なお，成績に関する問い合わせをする際には，修学支援システム内の個別成績表を印刷し，それを必ず持参してください。

（7）共通教育科目の成績評価に関する異議申立制度について

1．共通教育科目に関して，成績開示後，受けた成績評価において下記の事由に該当すると考えられ，疑問や確認したいことがある場合は，まず当該授業担当教員に問い合わせてください。（直接教員へ問い合わせが困難な場合は，学生支援部 教育支援課 教務係 経由でも可）

①成績の誤記入等，明らかに教員の誤りであると思われるもの

②シラバスや授業等により周知している成績評価方法から明らかに逸脱した評価であると思われるもの

問い合わせを受けた授業担当教員は，真摯に対応します。

ただし，「授業担当教員が設定する成績評価の基準（採点基準）に不服を述べたり，「留年を免れたい」又は「就職が内定しているので，卒業延期を免れたい」等の理由により，成績に不服を述べたりすることはできません。

2．教員からの回答をもってしてもなお疑義がある場合は，教育支援センター長に異議を申し立てることができます。

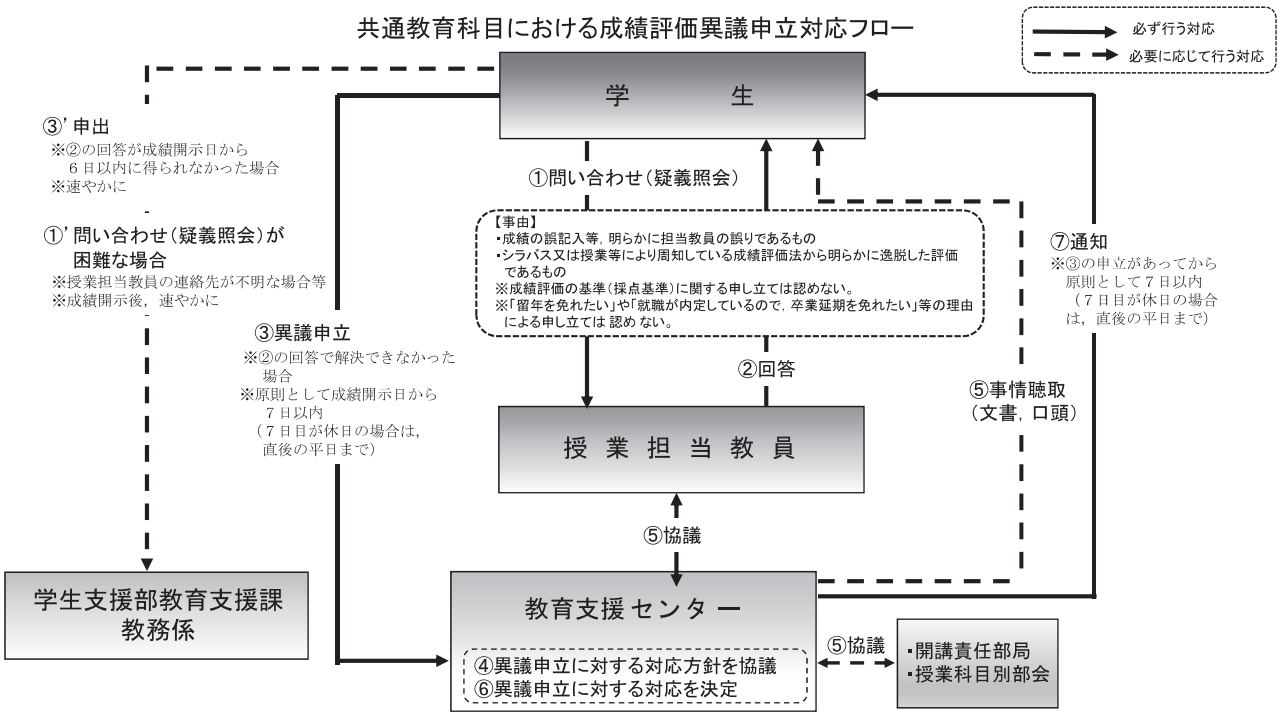
原則として，成績開示日から７日以内（７日目が休日の場合は，直後の平日まで）に「成績評価に対する異議申立書」により，学生支援部 教育支援課 教務係に申し出てください。メールに異議申立書を添付して申し出ることも可能です。

3．成績開示日から６日以内（６日目が休日の場合は，直後の平日まで）に教員からの回答が得られない場合は，学生支援部 教育支援課 教務係に申し出てください（メールによる申し出も可）。

この場合の異議申立手続き期間は，原則として教員からの回答があった日から３日以内（３日目が休日の場合は，直後の平日まで）とします。

4．授業担当教員の連絡先は，シラバスを参照してください。

それでも，担当教員の連絡先が不明な場合は，学生支援部 教育支援課 教務係へ問い合わせてください。



Q：共通教育科目の修得単位，どうやって管理するの？

A：　繰り返しになりますが，学生のみなさんが修得した成績および単位については，自分自身が正確に管理しないといけません。例えば，４年生になって，所属する学部の教務（学務）担当係から，「共通教育科目の〇〇の単位を修得していないから，今年の前期に単位を修得しないと卒業できません！」と，連絡されることはありません。

成績および単位の修得状況については，修学支援システム内の成績照会で必ず「今まで修得している授業科目や単位数」や「卒業までに修得しないといけない授業科目および単位数」について，常に正確に把握し，次の学期に，どの授業科目を履修しないといけないか，自分自身が決定しなくてはいけません。「成績の確認→次の学期の履修登録」にあたっては，学生のみなさん自身が，細心の注意を払う必要があります。

単位修得状況等に少しでも不安がある場合には，早めに所属する学部の教務（学務）担当係に相談してください。

Ⅷ．　学外における授業科目の履修等について

1　既修得単位の認定について

（1）既修得単位認定制度とは

他大学（放送大学を含む）または短期大学，大学以外の教育施設において，修得した単位および資格について，既修得単位認定の希望者からの申請により，本学における審査に基づき，その修得単位のうち60単位を最大として，本学における修得単位として認定する制度です。

（2）既修得単位認定の申請

既修得単位認定の希望者は，所属する学部の教務（学務）担当係に問い合わせてください。

2　放送大学の授業科目の履修について

（1）放送大学の単位互換

山口大学と放送大学との単位互換協定に基づき，放送大学の授業を履修して，単位認定試験により単位を修得すれば，本学における卒業に必要な単位（共通教育科目または専門科目）として認定することができます。

（2）放送大学の授業科目の履修について

令和７年度・第２学期（令和７年10月１日～令和８年３月31日）における放送大学の授業科目受講に関する概要は，以下のとおりです。また，放送大学の資料等は，各学部教務（学務）担当係にありますので，参照してください。

出願手続　詳細については，掲示等によりお知らせします。

学　　費　授業料：１科目（２単位）あたり12,000円（入学料は免除）

履修方法　BS放送もしくはDVD・CD等の視聴による通信指導またはオンライン授業

認定試験　Web受験方式（一部科目は郵送受験方式）にて実施されます。オンライン授業科目は，認定試験ではなく課題提出による成績評価として実施されます（一部科目を除く）。授業科目によっては，山口大学の学期末定期試験と日程が重複することがありますので注意してください。

なお，令和８年度・第１学期以降については，掲示等，学部の指示に注意してください。

（3）放送大学の授業科目の履修に関する問い合わせ

履修できる授業科目および修得できる単位数は，所属する学部により異なりますので，事前に所属する学部の教務（学務）担当係に問い合わせてください。

3　山口県立大学，山口学芸大学，山口芸術短期大学および宇部フロンティア大学の授業科目の履修について

（1）山口県立大学，山口学芸大学，山口芸術短期大学および宇部フロンティア大学との単位互換

山口大学と山口県立大学，山口学芸大学，山口芸術短期大学および宇部フロンティア大学との単位互換協定に基づき，同大学等の授業を履修して，学期末定期試験により単位を修得することにより，本学における必要な単位（共通教育科目または専門科目）として認定することができます。

（2）山口県立大学，山口学芸大学，山口芸術短期大学および宇部フロンティア大学の授業科目の履修に関する問い合わせ

履修できる授業科目および修得できる単位数は，所属する学部により異なりますので，事前に所属する学部の教務（学務）担当係に問い合わせてください。

4　派遣留学先の授業科目の認定について

（1）派遣留学における単位認定

山口大学においては，諸外国の大学等教育機関と，大学間または学部間の学術交流協定を締結し，学生交流を推進しています。本学の派遣留学生となり，交流協定先大学の授業等を履修して，単位の認定を受ければ，本学における卒業に必要な単位（専門科目）として認定されることがあります。

（2）派遣留学に関する問い合わせ

派遣留学に関する問い合わせについては，所属する学部の教務（学務）担当係または国際交流課留学生交流係に問い合わせてください。また，派遣留学先における修得単位の認定については，所属する学部の教務（学務）担当係に問い合わせてください。

Ⅸ．共通教育におけるその他の注意点について

1　共通教育に関する諸連絡等について

（1）大学生活における心得－自己責任

山口大学において，学生のみなさんが学習していく過程にあって，もっとも大切なことは，すべての行動について自己責任を負うということです。社会人としては当然のことですが，自分自身の行動には，自分自身が責任を持つという態度が，大学生の最低限のルールです。

（2）掲示等の確認について

共通教育科目に関する学生への諸連絡については，山口大学Webメール，修学支援システム，P.49共通教育棟配置図内の『共通教育掲示板１』（授業等の連絡用），『共通教育掲示板２』（TOEIC・厚生関連の連絡用）等により指示しますので，１日１回程度，忘れずに確認してください。

携帯電話へのメール転送設定（Webメールの設定方法はメディア基盤センターホームページを，修学支援システムの設定方法はホームページ掲載の『修学支援システム操作マニュアル』を参照）等を利用して，まめに確認するようにしてください。

諸連絡の見落としによって，各種申込やレポート提出の期限に遅れたり，オリエンテーション等を欠席したり，休講や教室変更の情報を得られなかったりして不利益を生じることがあります。**これらの不利益は，自分自身の不注意によるもの以外の何ものでもありません。自己責任の意識を明確に持って行動してください。**

（3）レポート提出について

担当教員によっては，授業時間内または掲示等により，レポート提出の指示がある授業科目があります。担当教員の指示に基づきレポートを作成して，所定の提出場所および提出期限等を厳守し，提出してください。

なお，担当教員から特に用紙等の指示がない場合には，Ａ４版のレポート用紙を使用し，所属する学部および学科・課程，学籍番号，氏名を明記してください。

（4）欠席届について

大学の授業は，全て出席することが前提です。

ただし，疾病，忌引，教育実習，就職試験等やむを得ない事由により共通教育の授業を欠席する場合(定期試験を欠席する場合は，P.35「３．追試験について」を参照)には，授業担当教員へ報告することができます。

報告の手段としては，シラバスの連絡先欄に記載のメールアドレスへのメールでの報告，書面での報告等があります。

共通教育では欠席を届けることに関しての定めはありませんが，書面で提出する場合のために「欠席届」の様式を準備しています。もし「欠席届」にて欠席を届けたい場合，教育支援課教務係窓口に備え付けがありますので，窓口までお越しください。この「欠席届」の様式を使う場合は，必要事項を記入し，事前あるいは翌週の授業の際に授業担当教員に提出してください。「欠席届」の様式は，共通教育ホームページにも掲載していますので確認してください。

なお，専門科目の欠席については，授業を開講している学部の教務(学務)担当係の指示に従ってください。

「欠席届」は，授業担当教員に「欠席」の事実を届け出るだけのものであり，提出をもって必ずしも出席扱いになるものではありません。

（5）出席確認システムについて

共通教育では，各教室のカードリーダーに学生証をかざして出席確認を行っています。学生証を忘れた場合は，教育支援課教務係備え付けの「出席届」に必要事項を記入して，担当教員に提出してください。

なお，出席確認システムを使用しない授業もありますので，その場合は教員の指示に従ってください。

（6）教育支援課教務係の業務時間について

掲示等により呼び出しされた場合や，履修および成績等に関するアドバイスを受ける場合には，学生のみなさんが教育支援課教務係に出向き，行うことになっています。教育支援課教務係においては，次頁の業務時間に窓口対応を行っています。

なお，教育支援課教務係においては，原則として，電話による問い合わせについては受け付けていません。

業務時間　８時30分～17時15分（大学休業日（土曜日，日曜日および祝祭日）を除く）
また，学割証等を発行している証明書自動発行機の稼働時間については，下記のとおりです。
８時30分～18時00分（大学休業日（土曜日，日曜日および祝祭日）を除く）
長期休業期間中については，８時30分～17時15分となります。

（7）個人情報の取り扱いについて

本学では，大学に提出された書類に記入されている家族および学生本人の個人情報について，大学からの緊急時の連絡以外には，利用することはありません。国立大学法人山口大学における個人情報保護に関する基本方針に基づき，学生の個人情報を保護しています。

なお，課題レポート等を学部・学科ごとおよび科目別クラスごとにボックス等で配布・返却を行うことがありますので，ご了承下さい。個人情報の取扱いについて疑問や不安を感じた場合は，教育支援課教務係に申し出てください。

（8）授業の撮影・録画・録音の禁止について

授業の撮影・録画・録音は原則禁止ですので，これらの行為は控えるようにお願いします。必要な場合は，必ず授業担当教員の許可を得てください。

2　学生の生成系 AI（ChatGPT 等）の利用について

山口大学では，「学生の生成系AI（ChatGPT等）の利用に関する留意事項」を定めています。
なお，今後AIに関する技術の進展や社会での活用状況等に照らし合わせ，順次改訂を図ることとします。

○長短所を理解し，積極的に利用

山口大学では，ChatGPT等をはじめとする生成系AIは，今後の社会生活において必須となる可能性を持ったツールであり，学生の皆さんには積極的に利活用して欲しいと考えています。学生の皆さんは，まずこれらのツールに積極的に触れ，長短所を理解し，適正に利活用できるよう自己研鑽に努めましょう。

○AIに関する基礎的な知識等の習得

生成系AIを含むAIの利活用にあたっては，学生自身が最新の動向，AIの普及による可能性とリスク，倫理面やデータリテラシー等を含むデジタル化社会に対応するための基礎的な知識・能力等について習得・理解することが重要です。そのため山口大学では，共通教育科目等の授業を通じ，基礎的な知識の普及に取り組みます。

○生成系AIと学修活動との関係性，成績評価

大学における学修は学生が主体的に学ぶことが本質であることから，授業担当教員の許可・指示がない場合，生成系AIの結果をそのまま自分の成果としてレポートや論文等を作成することは一般的に不適切と考えられます。もし，このような不適切使用が判明した場合は，本学の懲戒に関する各規則に則り厳格に対応します。

○生成系AIの限界

生成された内容には，虚偽やバイアス（偏り，先入観）が含まれている可能性があります。生成系AIの出力内容については，必ず確認・裏付けを行うことを心がけましょう。

○機密情報や個人情報の流出の可能性

生成系AIへの入力を通じ，個人情報や秘密が意図せず流出する可能性があります。生成系AIに個人情報等を入力することは絶対に避けましょう。

○著作権との関係性

ChatGPTを開発したOpenAIでは，「OpenAIで出力されたコンテンツの権利は利用者にすべて譲渡する」としています。しかし，その機械学習の元となるデータには使用許諾を得ていない可能性を否定できません。生成系AIを利用して生成した文章等を利用する際は，意図せず既存の著作物に係る権利を侵害する可能性があるため留意が必要です。

3　気象事象による災害発生の恐れがある場合の授業および定期試験の取り扱いについて

（1）気象事象による災害発生の恐れがある場合の授業および定期試験の休講措置について

山口市，宇部市，広島市もしくは福岡市に特別警報（高潮および波浪は除く）または台風に伴う暴風警報が発令された場合には，各地区キャンパスの授業および定期試験について，以下のとおり措置されます。なお，１時限開始前に発令された場合には，１時限から休講となり，休憩時間に発令された場合は，次の時限から休講となり，授業および定期試験開始後に発令された場合は，それ以後に開始される午前または午後の授業および定期試験が休講となります。

対象時刻	警報発令状況	対応措置等
午前　７　時	解除されている場合	終日授業等実施
	発令されている場合	午前授業等休講
午前　１１　時	解除されている場合	午後授業等実施
	発令されている場合	午後授業等休講

（2）休講等措置の周知方法について

学生のみなさんは，マスメディア等により警報の発令状況等を確認して対応してください。

なお，気象状況の急変により急遽休講が決定した場合は，下記Webページおよびその他の方法により，別途お知らせします。

「山口大学ホームページ」→「教育・学生生活」→「教育情報（共通教育）」

（3）特別警報および台風以外の緊急事態における授業および定期試験の取り扱いについて

山口地区キャンパスに特別警報および台風以外の緊急事態が発生し，授業および定期試験に支障があると予想された場合には，副学長（教育学生担当）が休講等の措置を決定します。

宇部地区，広島地区および福岡地区キャンパスの休講措置については，学部長または研究科長が副学長（教育学生担当）と協議し決定するものとします。

（4）自治体からの警戒レベル４「避難指示」発令時にかかる対応について

自宅や，山口大学及び大学までの通学区間の地域において，自治体から警戒レベル４「避難指示」が発令されている場合，無理に通学するのではなく，危険な場所からの避難を最優先し，自宅や避難できる安全な場所で待機してください。この事情による授業の欠席については，配慮しますので，通学可能になった後で当該授業の担当教員にその旨申し出てください。

4　共通教育棟の使用について

（1）学生ラウンジ使用について

共通教育棟本館には，ラウンジが各階にあります。他の利用者や授業の迷惑にならないように利用してください。

利用時間　8時30分～18時00分
＊大学休業日，土日祝祭日は施錠します。

（2）授業時間帯の教室使用について

授業時間帯の教室使用については，授業に使用されていない教室であれば，他の授業に支障のない限り，使用することができます。ただし，使用後にあっては，板書を消し，窓締めおよび消灯を確認してから退出してください。プロジェクター等の視聴覚機器については，故障の原因になりますので触れないでください。

（3）授業時間帯以外の教室使用について

サークル活動等により授業時間帯以外に教室を使用する場合には，学生支援課（8番窓口）に問い合わせてください。ただし，使用後にあっては，板書を消し，清掃を行い，窓締めおよび消灯・施錠を確認してから退出してください。器物を破損等した場合には，速やかに届け出てください。

なお，入学試験等の学校行事および学会の開催等により使用できない場合もありますので，使用日については，事前に学生支援課（8番窓口）に確認してください。

（4）駐車および駐輪について

自動車

自動車の入構については，あらかじめ許可された自動車以外の入構を禁止しています。学生支援課学生サービス係にて手続きを行い，許可されると駐車許可証が発行されます。許可された自動車は，所定の駐車場に駐車してください。なお，構内の走行については認められません。

自転車，自動二輪車，原動機付自転車

通学等に自転車を利用する学生は，交通ルールを遵守するとともに，必ず所定の駐輪場に駐輪してください。

自動二輪車や原動機付自転車は，駐車許可証は不要です。ただし，構内を走行することはできないため，必ず正門または南門の二輪専用駐車場に駐車してください。

（5）遺失物の取り扱いについて

共通教育棟およびその周辺において所持品等を紛失した場合には，教育支援課教務係に届いていることがあります。届いた遺失物のうち，所有者の明らかなものについては，修学支援システムのメッセージ等により連絡します。それ以外の遺失物については，教育支援課教務係の遺失物書架に保管していますので，自分のものがある場合には，窓口に申し出てください。なお，教育支援課教務係の遺失物書架に6か月保管したのちは処分します。

テキスト等の遺失物が多いので，みなさんの所有物については，所属する学部および学科・課程，学籍番号および氏名を明記しておいてください。

（6）ゴミの分別について

ゴミは，燃えるゴミ，燃えないゴミ，ビン，缶，ペットボトルに分別して，所定のゴミ箱に捨ててください。マナーを守り，快適な講義環境を保つようにしてください。

（7）その他の注意事項

授業の終了後等に，最後に教室を退出する場合には，板書を消し，窓締めおよび消灯を確認してから退出してください。器物等を破損した場合または器物等の破損および漏水等を発見した場合には，速やかに教育支援課教務係に申し出てください。

（8）教室における活動の制限

料金の徴収や物品の販売等の営利行為を目的とする場合や，政治的および煽動的な活動を目的とする場合には，教室を使用できません。このような活動を行っている場合には，直ちに教室の使用を中断させ，強制的に退出させます。

5　共通教育メディア教育棟情報処理演習室の使用について

（1）情報処理演習室について

共通教育メディア教育棟において，情報処理演習室（演習室Ⅰ：50台，演習室Ⅱ：50台）を設置しています。授業等に使用されていない時間帯は，開放教室として学生のみなさんの自習等に利用することができますので，有効に活用してください。

なお，情報処理演習室の利用にあたっては，情報処理演習室に掲示されている利用上の留意事項等を熟読して，利用マナーを遵守してください。

（2）利用時間について

利用時間については，授業に使用されている時間を除いた以下の時間となっています。ただし，利用可能な時間帯であっても，集中講義や研修会等の実施により利用できない場合もありますので，共通教育棟の掲示に留意してください。

利用時間　8時30分～17時15分　（大学休業日（土曜日，日曜日および祝祭日）を除く）

6　レポートの剽窃・盗用について

レポートの剽窃・盗用（コピー&ペースト）は不正行為です！！

レポートや卒業論文等の執筆・提出は，定期試験等と並んで大学での勉強の成果の証となる重要なものです。したがって，レポートや論文の書き方のルールを守らないと，不合格になったり，不正行為と判断されて処分の対象になることもあります。

文献あるいはデータベース等から取得した情報を使用する場合，自分の意見表明あるいは自分の研究データ等とは明確に区別しなければなりません。その場合でも，下記に示す「引用」としての使用条件に従う必要があり，この条件に違反すると多くの場合は剽窃・盗用として不正行為になります。

レポートや論文を執筆する際は下記の点に注意して下さい。

自分の意見や研究データ等で執筆した部分とそれ以外を明確に区別する

↓　上の「明瞭区別性」以外に，下の要件を満たす必要があります。　↓

- **研究等の引用の目的上，必要最小限の範囲内で行う（必要最小限）**
- **引用のある箇所について，自分の文章の方が主で，引用された他人の文献等が量的にも質的にも従である（主従関係）**
- **取得した他人の文献あるいはデータベース等の出典を明示する（出典明示）**

具体的には，引用する場合は一字一句間違えずに正確にそのまま引用する，ウェブサイトからの引用は出典表記としてURLとページタイトルだけでなく取得日も記述する等の細かな作法を守る必要があります。更に，著作権法第35条の権利制限規定との関わりも重要です。

Ⅹ．　山口大学共通教育科目履修規則

（趣旨）
第１条　この規則は，国立大学法人山口大学学則（平成 16 年規則第１号。以下「本学学則」という。）第 31 条第２項及び第 31 条の２第２項の規定に基づき，共通教育科目の履修方法，試験等に関し必要な事項を定める。

（授業科目及び単位数）
第２条　授業科目及び単位数は，別表のとおりとする。
２　各授業科目は，半年学期制により開講するものとする。
３　１授業科目につき修得できる単位数は，原則として４単位，２単位又は１単位とする。

（外国人留学生対象の授業科目）
第３条　前条に定める授業科目のうち，日本語系列の授業科目は外国人留学生対象の授業科目として開設し，修得できる単位数は，各学部が別に定める。

（単位の計算）
第４条　各授業科目の単位の計算は，本学学則第 38 条第１項各号並びに同条第２項第１号及び第２号の定めるところによる。

（共通教育科目の年次配当）
第５条　各年次における配当は，学部規則の定めるところによる。

（卒業に必要な授業科目及び単位数）
第６条　卒業に必要な共通教育の授業科目及び単位数は，学部規則の定めるところによる。

（履修手続）
第７条　学生は，毎学期指定の期日までに，履修しようとする共通教育科目を所属学部長に届け出なければならない。ただし，入学した年度にあっては，山口大学教育支援センター長（以下「センター長」という。）を経て所属学部長へ届け出るものとする。

（履修科目の評価）
第８条　履修科目の評価は，各授業担当の大学教育職員等が，出席状況及び試験の成績等によって行う。
２　評価は，秀，優，良，可及び不可をもって表し，可以上を合格とする。
３　評価は，センター長から当該学部長へ通知する。

（試験）
第９条　試験は，学期末に行う。ただし，必要がある場合は，学期末以外の時期に行うことがある。
２　前項の規定にかかわらず，平常の成績をもって試験に代えることがある。
３　学生は，第７条の手続を経ていない科目については，受験することができない。

（追試験）
第 10 条　やむを得ない事情により，所定の試験に欠席した者に対しては，特に審議の上，追試験を行うことがある。
２　追試験に関し必要な事項は，別に定める。

（単位の認定）
第 11 条　単位の認定は，各学部が行う。

（他の大学等及び入学前の修得単位等の認定）
第 12 条　本学学則第 32 条から第 34 条までの規定に基づく共通教育の単位の認定は，山口大学教育支援センターの審査を経て，各学部が行う。
２　前項に関して必要な事項は，別に定める。

（雑則）
第 13 条　この規則に定めるもののほか，この規則の実施に関し必要な事項は，教育・学生支援機構運営委員会の意見を聴いてセンター長が定める。

（省略）
附則
１　この規則は，平成26年４月１日から施行する。

２　平成26年３月31日以前の入学者（同年４月１日以降にその者と同一の年次（その者が留年することなく進級した場合の年次に限る。）に編入学，再入学又は転入学する者を含む。）の共通教育科目は，この学則による改正後の山口大学共通教育履修規則別表（第２条関係）の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附則
１　この規則は，平成28年４月１日から施行する。
２　平成28年３月31日以前の入学者（同年４月１日以降にその者と同一の年次（その者が留年することなく進級した場合の年次に限る。）に編入学，再入学又は転入学する者を含む。）の授業科目及び単位数は，この規則による改正後の山口大学共通教育履修規則別表（第２条関係）の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附則
１　この規則は，平成29年４月１日から施行する。
２　平成29年３月31日以前の入学者（同年４月１日以降にその者と同一の年次（その者が留年することなく進級した場合の年次に限る。）に編入学，再入学又は転入学する者を含む。）の授業科目及び単位数は，この規則による改正後の山口大学共通教育科目履修規則別表（第２条関係）の規定にかかわらず，なお従前の例による。
３　前項の規定にかかわらず，平成25年度から平成28年度までの入学者（同期間内にその者と同一の年次（その者が留年することなく進級した場合の年次に限る。）に編入学，再入学又は転入学する者を含む。）の共通教育科目については，従前の表に教養展開系列のユニバーサルデザイン展開分野の授業科目として「ユニバーサルデザイン展開科目（１又は２単位）」を加えたものを適用する。

附則
１　この規則は，平成30年４月１日から施行する。
２　平成30年３月31日以前の入学者（同年４月１日以降にその者と同一の年次（その者が留年することなく進級した場合の年次に限る。）に編入学，再入学又は転入学する者を含む。）の授業科目及び単位数は，この規則による改正後の山口大学共通教育科目履修規則別表（第２条関係）の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附則
１　この規則は，令和２年４月１日から施行する。
２　令和２年３月31日以前の入学者（同年４月１日以降にその者と同一の年次（その者が留年することなく進級した場合の年次に限る。）に編入学，再入学又は転入学する者を含む。）の授業科目及び単位数は，この規則による改正後の山口大学共通教育科目履修規則別表（第２条関係）の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附則
１　この規則は，令和３年４月１日から施行する。
２　令和３年３月31日以前の入学者（同年４月１日以降にその者と同一の年次（その者が留年することなく進級した場合の年次に限る。）に編入学，再入学又は転入学する者を含む。）の授業科目及び単位数は，この規則による改正後の山口大学共通教育科目履修規則別表（第２条関係）の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附則
１　この規則は，令和５年４月１日から施行する。
２　令和５年３月31日以前の入学者（同年４月１日以降にその者と同一の年次（その者が留年することなく進級した場合の年次に限る。）に編入学，再入学又は転入学する者を含む。）の授業科目及び単位数は，この規則による改正後の山口大学共通教育科目履修規則別表（第２条関係）の規定にかかわらず，なお従前の例による。ただし，従前の別表（第２条関係）第１号の表に教養展開系列のYu-DX分野の授業科目として「DX概論（２単位）」，「地域学（２単位）」及び「DXPBL（２単位）」を加えたものを適用する。

附則
１　この規則は，令和６年４月１日から施行する。
２　令和６年３月31日以前の入学者（同年４月１日以降にその者と同一の年次（その者が留年することなく進級した場合の年次に限る。）に編入学，再入学又は転入学する者を含む。）の授業科目及び単位数は，この規則による改正後の山口大学共通教育科目履修規則別表（第２条関係）の規定にかかわらず，なお従前の例による。ただし，従前の別表（第２条関係）第１号の表に日本語系列の日本語分野の授業科目として「日本語ⅢＡ（読む・書く）（２単位）」，「日本語ⅢＢ（読む・書く）（２単位）」及び「日本文化（１単位）」を加えたものを適用する。

附則
１　この規則は，令和７年４月１日から施行する。
２　令和７年３月31日以前の入学者（同年４月１日以降にその者と同一の年次（その者が留年することなく進級した場合の年次に限る。）に編入学，再入学又は転入学する者を含む。）の授業科目及び単位数は，この規則による改正後の山口大学共通教育科目履修規則別表（第２条関係）の規定にかかわらず，なお従前の例による。

別表（第２条関係）

（１）共通教育科目の授業科目及び単位数（共同獣医学部を除く）

系　列		分　野	授　業　科　目	単位数
教養コア		基礎セミナー	基礎セミナー	2
		情報処理	データ科学と社会Ⅰ	1
			データ科学と社会Ⅱ	1
		知的財産入門	知的財産入門	1
		運動健康科学	運動健康科学	1
		山口と世界	山口と世界	1
		キャリア教育	知の広場	1
			キャリア教育	1
英語		英　語	英語Ⅰａまたは英語Ⅱａ	2
			英語Ⅰｂまたは英語Ⅱｂ	2
			英語会話Ⅰａまたは英語会話Ⅱａ	1
			英語会話Ⅰｂまたは英語会話Ⅱｂ	1
一般教養	人文教養	哲　学	哲学	1
		歴史学	歴史学	1
		社会学	社会学	1
	社会教養	経済と法	経済と法１	1
			経済と法２	1
			経済と法３	1
	自然教養	自然科学	自然科学１	1
			自然科学２	1
	学際的教養	人間の発達と育成	人間の発達と育成１	1
			人間の発達と育成２	1
		文化の継承と創造	文化の継承と創造１	1
			文化の継承と創造２	1
		社会と医療	社会と医療	1
		環境と人間	環境と人間	1
		食と生命	食と生命	1
専門基礎		理系基礎	数学Ⅰ	2
			数学Ⅱ	2
			物理学Ⅰ	2
			物理学Ⅱ	2
			化学Ⅰ	2
			化学Ⅱ	2
			生物学Ⅰ	2
			生物学Ⅱ	2
			地球科学Ⅰ	2
			地球科学Ⅱ	2
			物理学実験Ａ	2
			物理学実験Ｂ	1
			化学実験Ａ	2
			化学実験Ｂ	1
			生物学実験	2
			地球科学実験	2
教職基礎		教職基礎	日本国憲法	2
			スポーツ運動実習	1
教養展開		国際展開	国際展開科目Ａ１	1
			国際展開科目Ａ２	2
			国際展開科目Ｂ１	1
			国際展開科目Ｂ２	2

系列	分野	授　業　科　目	単位数
教養展開	地域展開	地域展開科目Ａ１	1
		地域展開科目Ａ２	2
		地域展開科目Ｂ１	1
		地域展開科目Ｂ２	2
	知財展開	知財展開科目Ａ１	1
		知財展開科目Ａ２	2
		知財展開科目Ｂ１	1
		知財展開科目Ｂ２	2
	ユニバーサルデザイン展開	ユニバーサルデザイン展開科目Ａ１	1
		ユニバーサルデザイン展開科目Ａ２	2
		ユニバーサルデザイン展開科目Ｂ１	1
		ユニバーサルデザイン展開科目Ｂ２	2
	総合展開	総合科目Ａ１	1
		総合科目Ａ２	2
		総合科目Ｂ１	1
		総合科目Ｂ２	2
	YU-DX	ＤＸ概論	2
		地域学	2
		ＤＸＰＢＬ	2
	時間学	時間学１	1
		時間学２	1
日本語	日本語	日本語Ⅰ（総合）	2～10
		生活日本語	2～6
		日本語Ⅱ（総合）	2～8
		日本語Ⅱ（読む・書く）	2～4
		日本語Ⅱ（聞く・話す）	2
		日本語ⅢＡ（総合）	2～4
		日本語ⅢＢ（総合）	2～4
		日本語ⅢＡ（読む・書く）	2
		日本語ⅢＢ（読む・書く）	2
		日本語ⅢＡ（聞く・話す）	2～4
		日本語ⅢＢ（聞く・話す）	2～4
		日本語ⅢＡ（文法）	2
		日本語ⅢＢ（文法）	2
		日本語ⅣＡ（総合）	2～4
		日本語ⅣＢ（総合）	2～4
		日本語ⅣＡ（読む・書く）	2～4
		日本語ⅣＢ（読む・書く）	2～4
		日本語ⅣＡ（聞く・話す）	2～4
		日本語ⅣＢ（聞く・話す）	2～4
		日本語ⅣＡ（文法）	2
		日本語ⅣＢ（文法）	2
		日本語ⅤＡ（総合）	2～4
		日本語ⅤＢ（総合）	2～4
		日本語ⅤＡ（アカデミックライティング）	2
		日本語ⅤＢ（アカデミックライティング）	2
		日本語ⅤＡ（口頭表現）	2
		日本語ⅤＢ（口頭表現）	2
		日本語ⅤＡ（ビジネス日本語）	2
		日本語ⅤＢ（ビジネス日本語）	2
		日本事情ⅠＡ	2
		日本事情ⅠＢ	2
		日本事情ⅡＡ	2
		日本事情ⅡＢ	2
		プロジェクトワークで学ぶ日本語Ａ	2
		プロジェクトワークで学ぶ日本語Ｂ	2
		日本文化	1

（2）共通教育科目の授業科目及び単位数（共同獣医学部）

系　列		分　野・科　目	授　業　科　目	単位数
一般教養教育科目	人文・社会科学系	文化と芸術	文化の継承と創造１ 文化の継承と創造２	１ １
		思想と歴史	哲学 歴史学	１ １
		人と社会	社会学 経済と法１ 経済と法２ 経済と法３ 人間の発達と育成１ 人間の発達と育成２	１ １ １ １ １ １
	自然科学系	自然と科学技術	自然科学１ 自然科学２ 知的財産入門 環境と人間 食と生命 データサイエンス数学 データサイエンス技術演習	１ １ １ １ １ １ ２
	総合教養系	人間教養と将来設計	山口と世界 知の広場	１ １
体育・健康科目		健康とスポーツ分野	スポーツ運動実習 社会と医療	１ １
初期教育科目		導入教育系	生命倫理学 コミュニケーション論	１ １
		情報科学系	データ科学と社会Ⅰ データ科学と社会Ⅱ	１ １
外国語科目		英　　語	英語Ⅰ 英語Ⅱ	４ ４

Ⅺ．相談窓口について

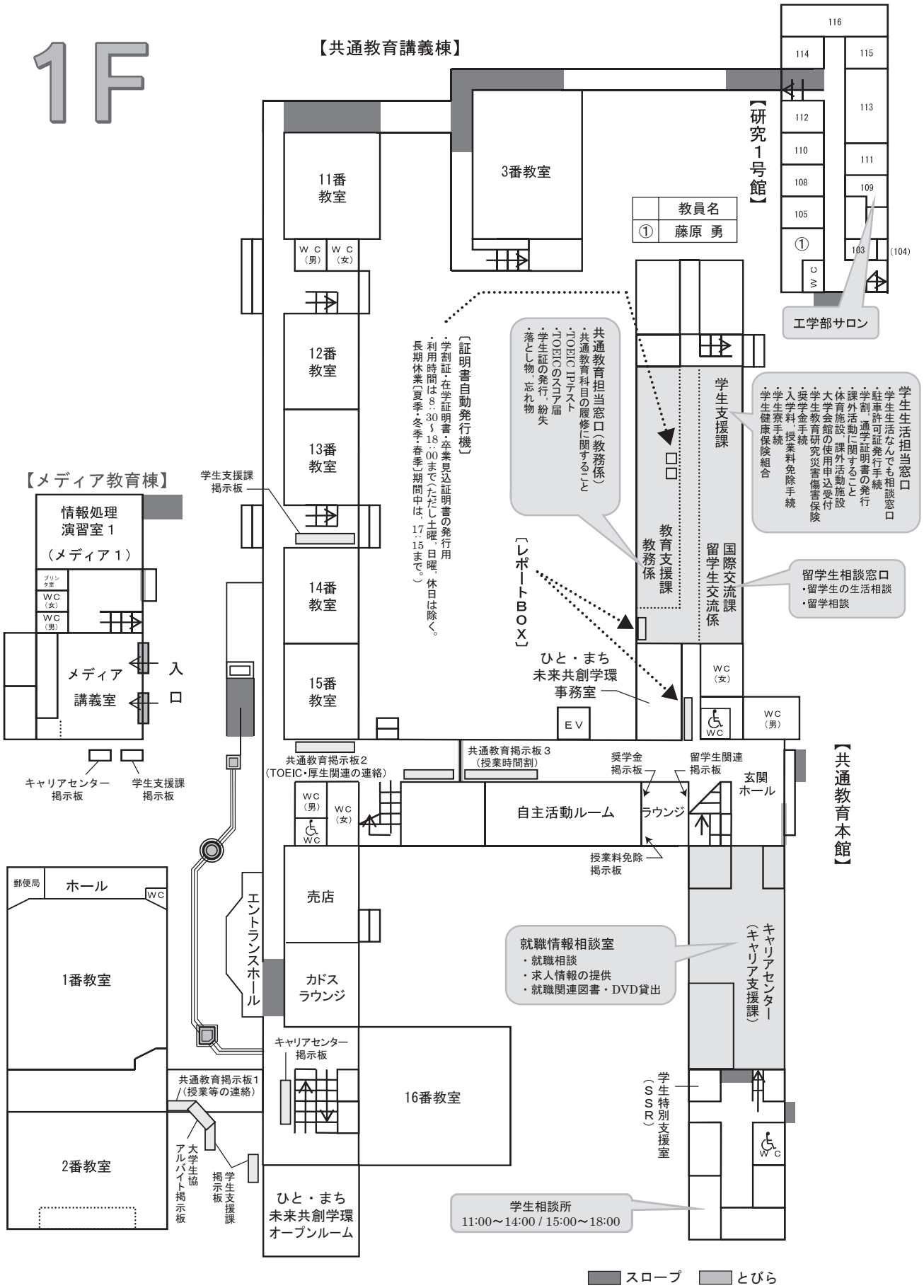
●相談窓口の場所は，P.49 及び巻末「吉田キャンパス配置図」を参照してください。

相談内容			相談窓口	備考
学業に関すること	授業内容に関すること		各授業担当教員	シラバスに記載されているオフィスアワー（※）を利用して，担当教員にコンタクトをとってください。（※）オフィスアワーとは，授業等についての学生の質問等に応じるために，教員があらかじめ設定した時間において，学生の訪問を受け入れる制度です。
	共通教育科目の履修方法に関すること		教育支援課教務係（授業・試験・履修指導窓口）	
	修学支援システムに関すること			
	出席確認システムに関すること			学生証のかざし忘れによる相談は，講義担当教員に直接申し出ること。
	TOEIC L&R IP テスト・TOEIC 関係科目に関すること			
	履修に関すること		各学部教務（学務）担当係（注 1）	
	上限単位数に関すること			P. 32 参照
	教育職員免許状に関すること			P. 30 参照
	既修得単位に関すること			P. 33，38 参照
	単位互換制度に関すること			
	進級・卒業にかかわること			
	その他専門科目に関すること			
学生生活に関すること（注4）	各種証明書	学生証	教育支援課教務係	
		学割証	自動発行機	
		在学証明書（注 3）		
		卒業見込証明書（注 3）		
		通学証明書	学生支援課	8番窓口
		成績証明書	各学部教務（学務）担当係（注 1）	
		健康診断証明書	健康科学センター	
	身上に関すること	休学 / 復学 / 退学	各学部教務（学務）担当係（注 1）	
		転学部		
		転居		
		改姓		
	経済援助	奨学金	学生支援課	9番窓口
		授業料免除		9番窓口
		学生寮		10 番窓口
	学生生活全般に関する相談		学生生活なんでも相談窓口	学生支援課7番窓口
	悩み全般に関する相談		学生相談所	
	障害等のある学生の修学支援		学生特別支援室	
	けが / 体調不良 / 身体やこころの健康相談		健康科学センター	入学時配布の「大学新入生のための健康ガイド」参照。
	その他	駐車許可証	学生支援課	8番窓口
		学生教育研究災害傷害保険		8番窓口
		学生健康保険組合		10 番窓口
		事故報告	各学部教務（学務）担当係（注2）	

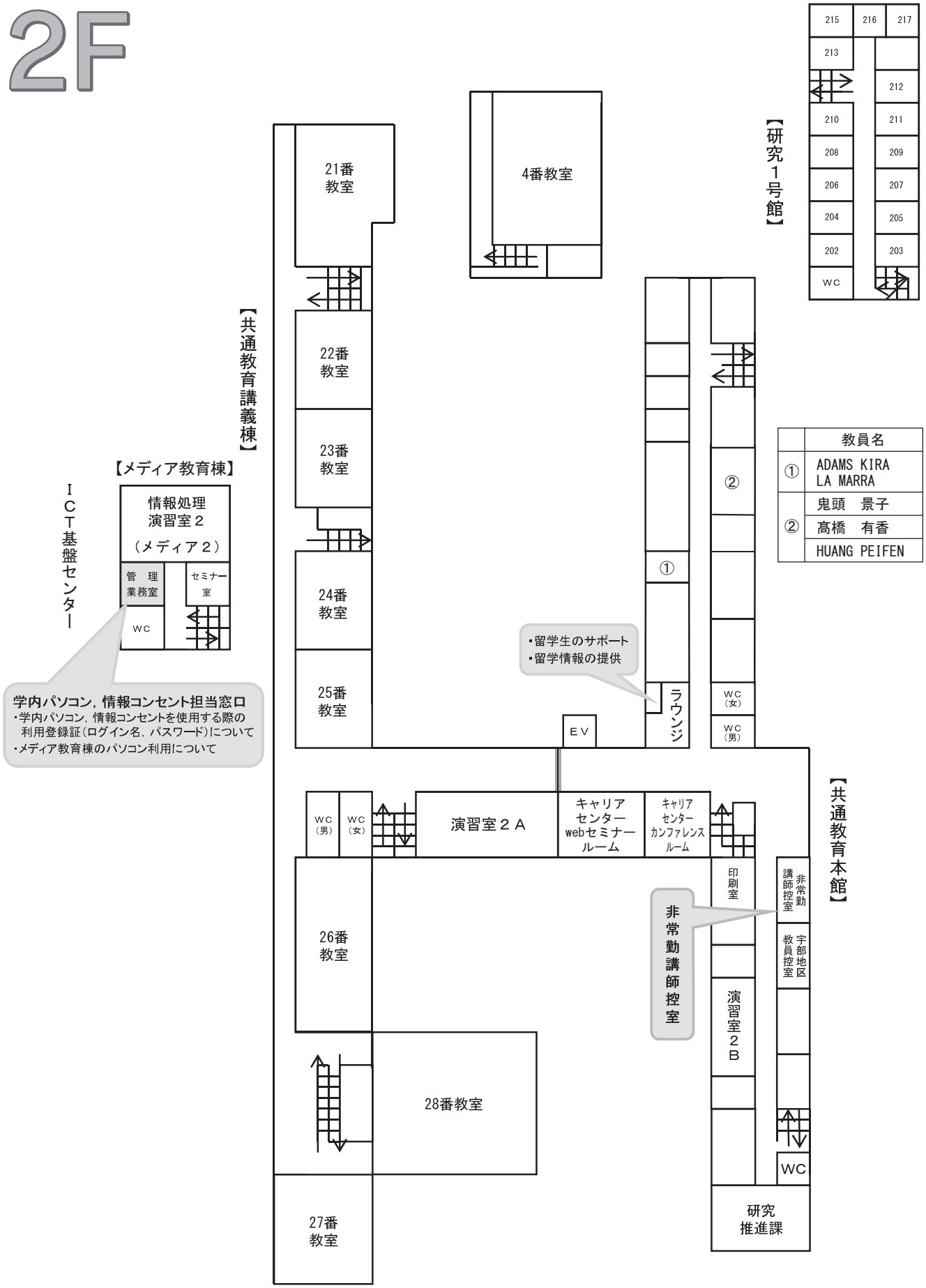
（注１）医学部・工学部１年生は，教育支援課教務係に相談してください。
（注２）医学部・工学部１年生は，学生支援課に相談してください。
（注３）英文の各種証明書は，各学部教務（学務）担当係に相談してください。
（注４）学生生活については，『学生生活の手引き』を参照してください。
「山口大学ホームページ」→「在学生の方」→「生活支援（学生生活の手引き）」

Ⅻ. 共通教育棟配置図

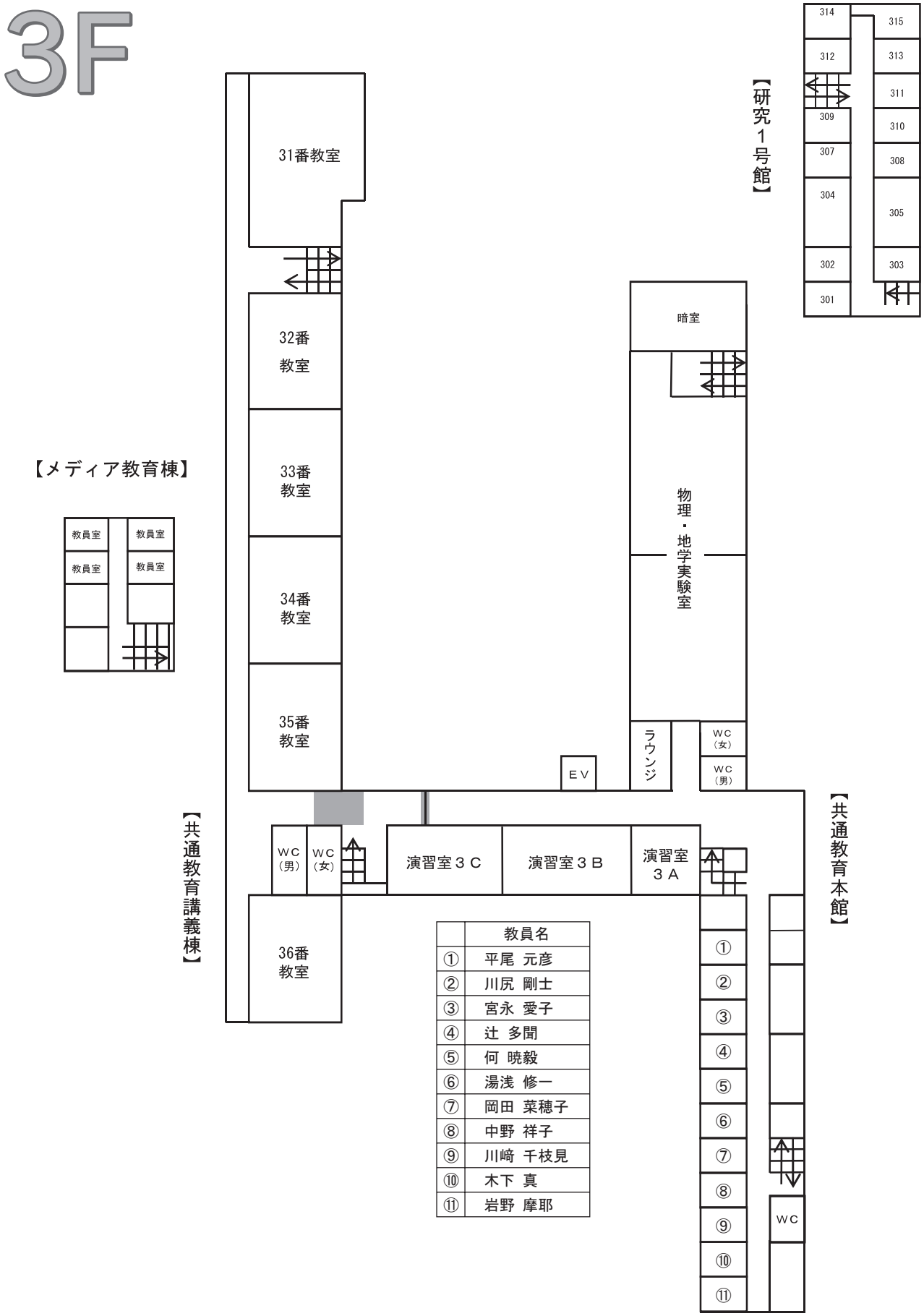
【共通教育本館・講義棟等（教室・実験室・事務室・研究室）の配置図】



2F

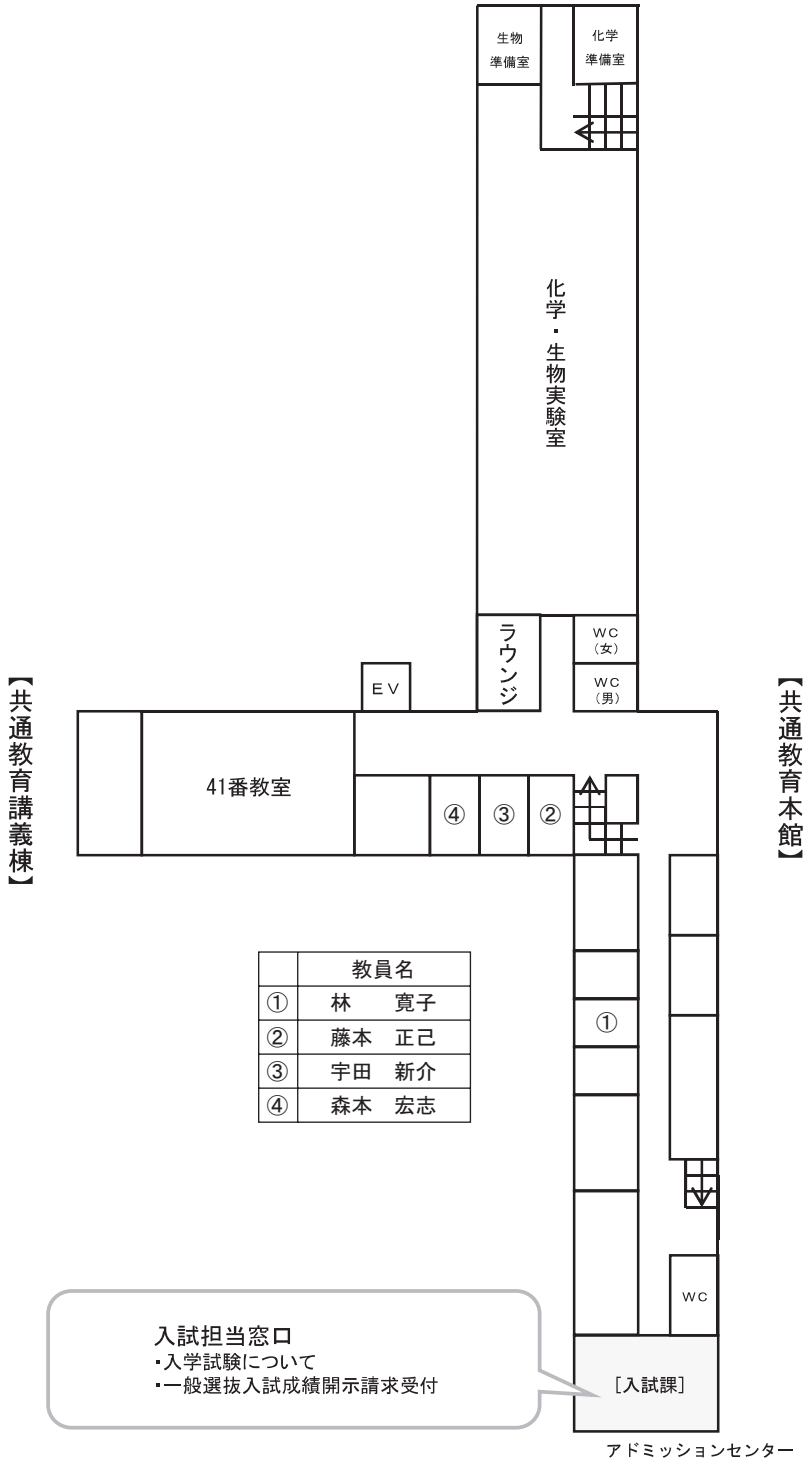

【研究1号館】
215
216
217
213
212
210
211
208
209
206
207
204
205
202
203
WC
4番教室
21番教室
22番教室
23番教室
24番教室
25番教室
26番教室
27番教室
28番教室
【共通教育講義棟】
【メディア教育棟】
ICT基盤センター
情報処理演習室２（メディア２）
管理業務室
セミナー室
WC
学内パソコン，情報コンセント担当窓口
・学内パソコン，情報コンセントを使用する際の利用登録証（ログイン名，パスワード）について
・メディア教育棟のパソコン利用について
教員名
① ADAMS KIRA LA MARRA
② 鬼頭　景子
② 髙橋　有香
② HUANG PEIFEN
①
②
・留学生のサポート
・留学情報の提供
ラウンジ
WC（女）
WC（男）
EV
WC（男）
WC（女）
演習室２Ａ
キャリアセンターwebセミナールーム
キャリアセンターカンファレンスルーム
印刷室
非常勤講師控室
宇部地区教員控室
演習室２Ｂ
WC
研究推進課
【共通教育本館】

3F



	教員名
①	平尾 元彦
②	川尻 剛士
③	宮永 愛子
④	辻 多聞
⑤	何 暁毅
⑥	湯浅 修一
⑦	岡田 菜穂子
⑧	中野 祥子
⑨	川﨑 千枝見
⑩	木下 真
⑪	岩野 摩耶

4F



	教員名
①	林　　寛子
②	藤本　正己
③	宇田　新介
④	森本　宏志

共通教育科目に関するよくある質問について

共通教育科目についてよくある質問を○×クイズ形式にしてまとめました。『共通教育履修案内』をひと通り読んだら，クイズを解いてみてください。

問1	問題：時間割表を作成する際には，月曜日1・2時限目から金曜日9・10時限目まで授業を入れなければならない。
	解答：× 解説：高校までと異なり，卒業に必要な科目・単位数等が決められています。必修科目を入れて，選択科目を上限単位数を超えないように入れると，必ずしもすべての時間に授業が入ることはありません。

問2	問題：クォーター2の授業を履修する人は，クォーター1の授業開始日に行かなければならない。
	解答：× 解説：クォーター2および4の授業を履修する人は，履修・抽選登録期間にWeb登録し，クォーター2および4の開始日（表紙裏の学年暦に記載）に教室へ行ってください。

問3	問題：クォーター2の授業は，クォーター1と同じ履修・抽選登録期間にWeb登録しなくてはならない。
	解答：○ 解説：クォーター1の授業でもクォーター2の授業であっても，履修登録期間は同じです。 P.10 を参照し，期間内に必ず履修登録をするようにしてください。

問4	問題：共通教育科目の集中講義は，履修・抽選登録期間に Web 登録する必要はない。
	解答：○ 解説：履修登録方法については，掲示，修学支援システム等をよく確認してください。

問5	問題：学生が教員の研究室を訪ねてはいけない。
	解答：× 解説：授業内容について質問があるときは，シラバスのオフィスアワーを参考に，教員を訪ねてください。 非常勤の先生は，授業の時しか山口大学に来られませんので，授業後に質問してください。

問6	問題：授業を欠席する場合は，欠席届を必ず提出しなければならない。
	解答：△ 解説：やむを得ない事由により欠席する場合は，欠席届を提出することができます。 詳しくは P.39 を確認してください。

問7	問題：授業の初回から必ず教科書が必要である。
	解答：△ 解説：初回から必要となる場合がありますので，必ずシラバスや掲示を確認して，できるだけ購入して参加してください。履修が確定する2回目の授業までには必ず購入してください。

問8	問題：抽選科目で，当選又は強制割振以外の授業に出席した場合，当選外の授業の評価を受けることができない。
	解答：○ 解説：当選したクラスを勘違いするなどして，当選外の授業に参加しても，評価を受けることはできません。 どのクラスに当選したか十分に確認し，授業開始時に当選した授業の講義題目と教員があっているかを必ず確認してください。

修学支援システムの利用方法

山口大学では、学生の皆さんがパソコンのWebブラウザを使用して，履修登録や成績確認等が行える『修学支援システム』を導入しています。このシステムでは，履修登録や成績確認の他に，シラバス閲覧，休講・補講・講義連絡等のメッセージ確認もできますので，学生生活をする上で有効に活用してください。

◆修学支援システムに関する問い合わせ窓口は、以下のとおりです。

学生	担当窓口
医学部/工学部 1年次生	教育支援課　教務係
人文学部 人間社会科学研究科（人文科学）	人文学部　学務係
教育学部 教育学研究科 人間社会科学研究科（臨床心理学）	教育学部　学務係
経済学部	経済学部　学務係
人間社会科学研究科（経済学・経営学） 東アジア研究科	経済学部　大学院係
理学部 創成科学研究科（理）	理学部　学務係
医学部 2年次生以上 医学系研究科	医学部　学務課
工学部 2年次生以上 創成科学研究科（工） 技術経営研究科	工学部　学務課
農学部 創成科学研究科（農）	農学部　学務係
共同獣医学部	共同獣医学部　学務係
共同獣医学研究科	共同獣医学部　大学院係
国際総合科学部 人間社会科学研究科（共創科学）	国際総合科学部　学務係
ひと・まち未来共創学環	ひと・まち未来共創学環事務室

◆修学支援システムで活用できる項目は，以下のとおりです。

《トップページ》
- スケジュール
- マイシラバス
- ラーニングマップ
- お知らせ検索
- リンク
- 授業情報
- アンケート回答
- アンケート集計結果
- 落とし物
- 年間行事予定
- メール転送設定
- ログイン履歴
- ファイル保存庫
- 学内FAQ
- 修学支援申請（障害等）

《メッセージ》
- 受信履歴
- 送信履歴
- 作成
- 下書き
- 受信削除済
- 送信削除済

《履修・成績情報》
- 履修登録
- 履修時間割表
- 成績照会
- TOEIC
- 山口大学生コンピテンシー
- 定期試験
- 出欠情報
- シラバス検索
- YU CoB CuS
- YU CoB CuSシュミレーション

《授業支援》
- 授業リンク
- 授業内アンケート
- 小テスト
- 講義資料
- レポート
- 授業FAQ

《ポートフォリオ》
- 教職履修カルテ
- ポートフォリオ
- 就職関連
- サークル管理

《学籍情報》

＊修学支援システム利用上の留意事項＊

○　作業の中断
履修登録操作中に、何も操作されない状態が６０分継続すると、自動的にログアウトされる設定になっていますので，入力した内容が消去されます。注意してください。

○　公共（学内含む）パソコンの使用
・操作中は、席を離れないでください。個人情報（成績等）が漏えいしますので、短い時間でも席を立つときは、必ずログアウトをしてください。
・長時間にわたってパソコンを占有しないでください。また、公共のパソコンを使用する際は、そのパソコンの設定を無断で変更しないでください。

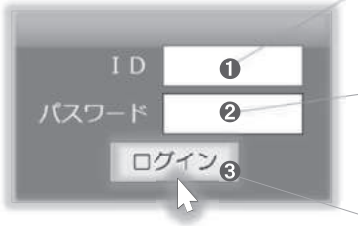
Copyright © 2011 Concept Co.,Ltd

LOGIN 1 ログイン 「ログイン方法」

ログイン画面

ログインURL https://www.kyoumu.jimu.yamaguchi-u.ac.jp/portal/

ログイン画面（拡大）



❶ ＩＤ
大学発行のＩＤを入力します。

❷ パスワード
大学発行のパスワードを入力します。

❸ ログインボタン
ＩＤとパスワードを入力後、ログインボタンをクリックします。

❹ 推奨環境
修学支援システムを利用するには、パソコンの動作環境（ＯＳ・ブラウザ）が必要です。皆さんのパソコンに以下のＯＳ・ブラウザが搭載されているかを確認してください。
　なお、山口大学で推奨しているノートパソコンは、この動作環境を満たしています。

[対象ＯＳ]	[ブラウザ]
Windows をご利用の場合 ・・・・	Edge, Firefox, Chrome
Macintosh をご利用の場合 ・・・	Edge, Firefox
IOS をご利用の場合 ・・・・・・	Safari
Android をご利用の場合 ・・・・	標準ブラウザ

※ブラウザは自動更新をオンにして最新バージョンを使用するようにしてください。

ログインできない（ユーザー名・パスワードが不明等）場合には、以下の手続き（手順）が必要です。
大文字・小文字の区別に注意し、もう一度ユーザー名・パスワードを入力する。
ユーザー名・パスワードが思い出せない場合には、各キャンパスの情報基盤センターに直接行って確認してください。（電話・メール等の問い合わせは不可）
その場合には、必ず学生証を提示して下さい。提示されない場合には、パスワードを教えることはできません。
　吉田キャンパス：吉田　情報基盤センター２階事務室
　常盤キャンパス：常盤　情報基盤センター１階事務室
　小串キャンパス：小串　情報基盤センター（基礎研究棟１階　事務室）

Copyright © 2011 Concept Co.,Ltd

OVER VIEW 1 概要 「トップページとメニュー構成」

DreamCampus

TOP 画面

メインメニュー

999 メニューの 右上の青の数字 はマニュアルの ページ です。

メインメニュー の各ボタンをクリックすると 以下の サブメニュー が表示されます。

サブメニュー

Copyright © 2011 Concept Co.,Ltd

M3.REG,REC　1　履修・成績情報　「履修登録」①/⑨ 個人情報の入力

履修・成績情報 > 履修登録

履修登録期間になると 履修登録 を行うことができます。
まず初めに、「本人住所情報」、「父母等情報」、「保証人情報」を入力する必要があります。
該当するそれぞれの「タブをクリック」して、情報を入力してください。
個人情報を登録しない場合は、履修登録を行えません。※ この画面は、初回のみ表示されます。

本人住所情報タブ

父母等情報タブ

保証人等情報タブ

個人情報を入力が完了した場合は、履修登録開始ボタンを押して、「履修登録」を開始してください。

Copyright © 2011 Concept Co.,Ltd

M3.REG,REC 2 履修・成績情報 「履修登録」②/⑨ 時間割形式入力

履修・成績情報 > 履修登録

履修登録期間になると 履修登録 を行うことができます。 ここでは 時間割形式入力 の履修登録方法を説明します。

抽選科目については、 M3.REG,REC 7・8 を参照してください。

履修登録画面 （時間割形式）

❶ 追加ボタン
履修する コマ（ 曜日・時限 ）の「追加ボタン」をクリックします。
その曜日・時限に開講される授業の一覧（ ❷ 授業選択画面 ）が 新規画面 で表示されます。

❷ 授業 選択画面

❸ 追加ボタン（ 授業 ）
「追加ボタン」をクリックして履修を希望する授業を選択すると、
その曜日・時限のコマ ❺ に選択した授業が表示されます。
※ 授業の選択方法 には、3種類 の選択方法があります。
詳細は、次ページを参照してください。

履修登録画面 （時間割形式）

コマの色の説明は、
M3.REG,REC 6 参照してください。

❹ 削除ボタン
追加した授業を削除する場合は、削除ボタンをクリックします。

❻ 時間割検索 ※ 次ページを参照してください。

❼ コード直接入力 ※ 次ページを参照してください。

❽ 印刷用ページ M3.REG,REC10 「 履修登録確認表 」を印刷できます。

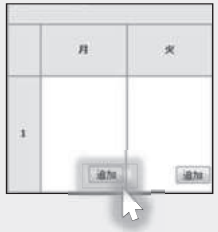
Copyright © 2011 Concept Co.,Ltd

M3.REG,REC 3 履修・成績情報 「履修登録」③/⑨ 授業の選択方法 3パターン

DreamCampus

授業を選択する方法には、以下の 3 パターン の方法があります。

1 曜日・コマから選択



1 希望する曜日・時限のコマで 追加ボタンをクリックすると、その曜日・時限に開講される授業の一覧が新規画面で表示されます。希望する授業の追加ボタンをクリックします。

❶ 各タブ
タブを切り替えることで、各タブに該当する授業が表示されます。たとえば、「他学部タブ」をクリックすると、❷ の画面のように 他学部の授業 が表示されます。

❸ 科目名のリンク
科目名をクリックすると、シラバスが表示されます。

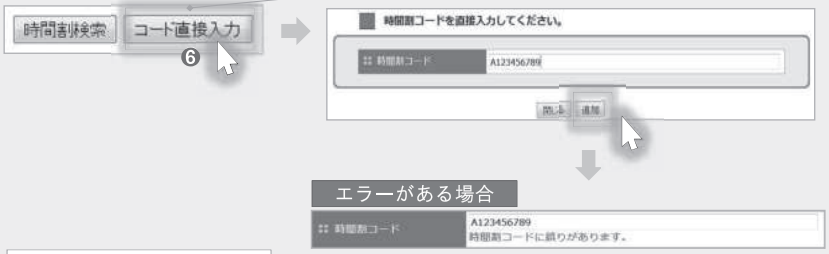
エラーがある場合

❹ エラーメッセージ
エラーがある場合は、❹ にエラーメッセージが表示されます。

2 時間割検索

2 開講学部・学科、曜日、時限、科目名、教員名等から、授業を 検索 できます。検索結果の一覧から追加ボタンをクリックして、授業を選択します。

3 コード直接入力



3 時間割コードがわかっている場合は、時間割コードを 直接入力 できます。入力後、追加ボタンをクリックします。

エラーがない場合

エラーがない場合は、
時間割形式画面の該当のコマに選択した授業が追加されます。

Copyright © 2011 Concept Co.,Ltd

M3.REG,REC 4 履修・成績情報 「履修登録」④/⑨ 一覧形式入力

DreamCampus

履修・成績情報 > 履修登録

一覧形式で 履修登録を 行うことができます。ここでは 一覧形式入力 の履修登録方法を説明します。

❶ 一覧形式入力
クリックすると、 ❷ の一覧形式画面で履修登録を行うことができます。

履修登録画面 （ 一覧形式 ）

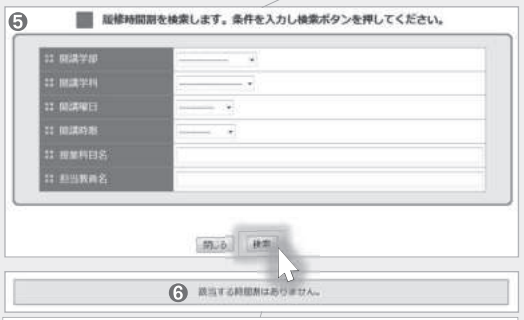
❸ 時間割検索
クリックすると ❺ の「時間割検索」画面が表示されます。

❹ コード直接入力
時間割コードで 直接指定する場合にクリックします。
❼ の「コード直接入力」画面が表示されます。
時間割コードを入力し、 ❽ の「追加ボタン」をクリックします。
エラーがない場合、 ⓬ の履修希望科目一覧に 科目が追加されます。
※ エラーがある場合、 ❾ にエラーメッセージが表示されます。

❿ 印刷ボタン
クリックすると「履修登録確認表」の印刷イメージ が表示されます。

⓬ 履修希望科目一覧
履修を希望している科目の一覧が表示されます。

時間割検索

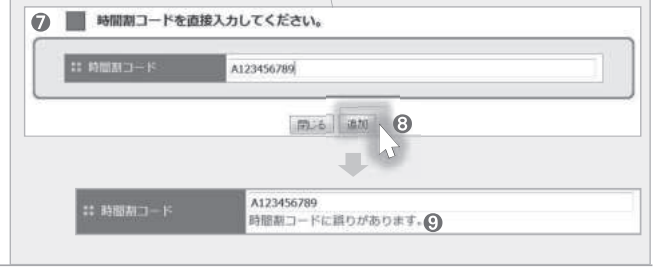


検索ボタン
検索ボタンをクリックすると、条件に該当する 授業の一覧が表示されます。
「追加ボタン」をクリックして授業を選択します。
※ エラーがある場合、授業一覧の上部 ⓫ にエラーメッセージが表示されます。

授業一覧

❻ 該当する授業がない
検索条件に該当する授業が存在しない場合は、灰色背景 でメッセージが表示されます。

コード直接入力



Copyright © 2011 Concept Co.,Ltd

M3.REG,REC 5 履修・成績情報 「履修登録」⑤/⑨ 集中講義

DreamCampus

履修・成績情報 > 履修登録

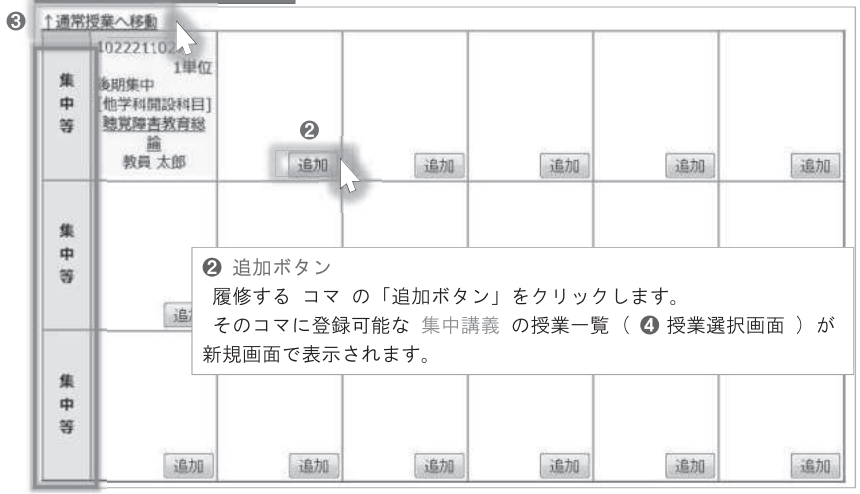
集中講義の場合は、画面の下部の 集中講義欄 で登録します。

❶ ↓集中講義等へ移動
クリックすると画面の最下部の集中講義欄へ移動します。

❸ ↓通常授業へ移動
クリックすると画面の最上部の 通常授業欄 へ移動します。

履修時間割表（上部）

履修時間割表（下部）



❷ 追加ボタン
履修する コマ の「追加ボタン」をクリックします。
そのコマに登録可能な 集中講義 の授業一覧（ ❹ 授業選択画面 ）が新規画面で表示されます。

授業選択画面

❺ 追加ボタン（ 授業 ）
「追加ボタン」をクリックして履修する授業を選択すると、 そのコマに選択した授業が表示されます。

Copyright © 2011 Concept Co.,Ltd

M3.REG,REC 6 履修・成績情報 「履修登録」⑥/⑨ コマの色

履修・成績情報 > 履修登録

各コマの色 の内容は以下の通りです。

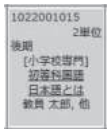
履修可能の色 ○

共通教育科目

❶

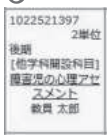
❶ 共通教育科目
水色の背景のコマは、共通教育 の科目です。

自学科・自コース（専門科目）

❷


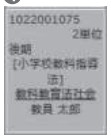
❷ 自学科・自コース（専門科目）
黄緑色の背景のコマは、自学科・自コース です。

他学部、他学科・他コース（専門科目）

❸


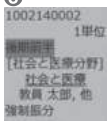
❸ 他学部、他学科・他コース（専門科目）
黄色の背景のコマは、他学部、他学科・他コース の科目です。

特別許可

❹


❹ 特別許可
青色の背景のコマは、窓口申請するなどして 特別許可 で履修可能となった科目です。
※ WEBからは削除できません。

強制振分け

❺


❺ 強制振分け
希望する科目に 落選 し、他の科目に 強制的に振分けられています。
(抽選の結果、振分けられます)

履修不可の色 ✕

履修エラー

❻

❻ 履修エラー
赤色の背景のコマは、履修エラー となっている科目です。
エラーの内容が コマの下部に表示 されます。
例:「カリキュラム外科目」

抽選漏れ、他当選

❼

❼ 抽選漏れ、他当選
深い緑色の背景のコマは、抽選の結果、抽選漏れ となった科目です。
※ コマの左下 に「抽選漏れ」もしくは「他当選」と表示されます。

Copyright © 2011 Concept Co.,Ltd

M3.REG,REC 7 履修・成績情報 「履修登録」⑦/⑨ 抽選科目の申請

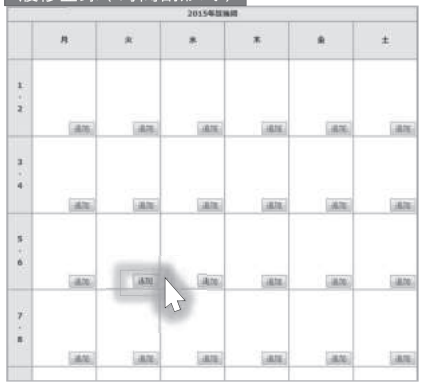
DreamCampus

履修・成績情報 > 履修登録

抽選対象 となっている科目は、第 3 希望 まで申請することができます。

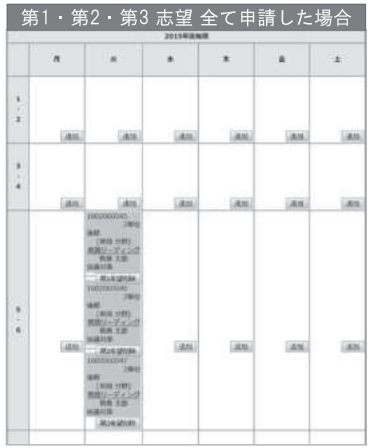
❶ 抽選対象
抽選科目の場合は、備考欄 に「抽選対象」と表示されます。 希望する順番 に時間割を追加していきます。
※ 3つすべてを入力する必要はありません。

履修登録（時間割形式）



科目選択画面

第1・第2・第3 志望 全て申請した場合



拡大

❷ 第 2 希望以降の追加
第 2 希望以降の申請は、コマの下部の追加ボタンをクリックします。

Copyright © 2011 Concept Co.,Ltd

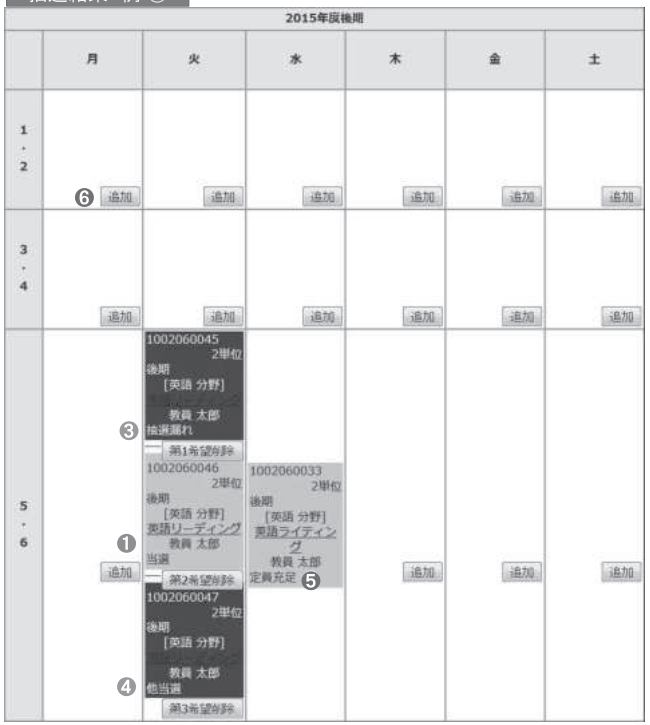
M3.REG,REC 8 履修・成績情報 「履修登録」⑧/⑨ 抽選結果

履修・成績情報 > 履修登録

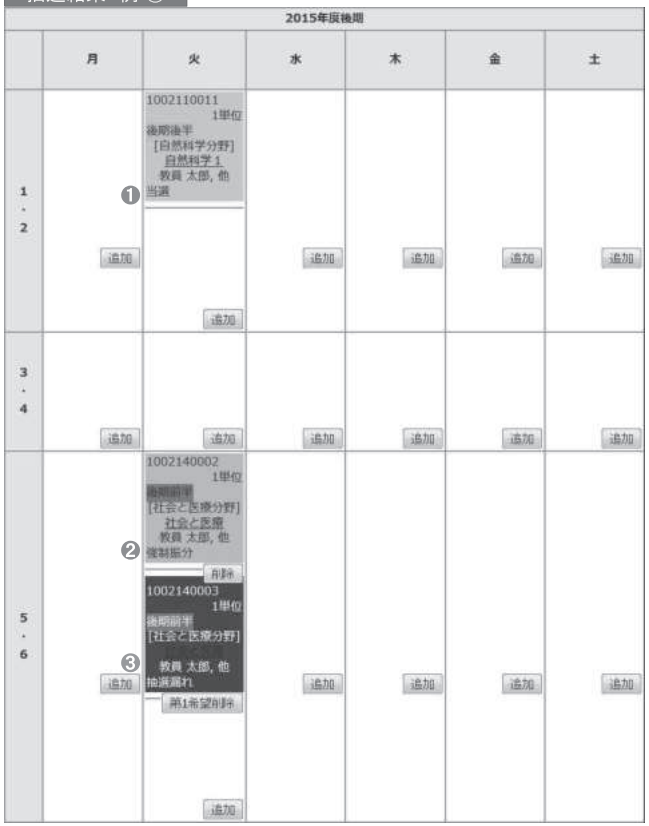
抽選の確認期間になると、抽選対象 科目の、抽選結果 を確認できます。

----------	履修の可否	抽選結果
❶ 当 選	○	希望する科目に 当選 しています。
❷ 強 制 振 分	○	希望する科目の 全てに落選 し、他の科目に強制的に振分け られています。
❸ 抽 選 漏 れ	×	下位の希望科目で当選した場合に、落選 した 上位希望の科目 に表示されます。
❹ 他 当 選	×	上位の希望科目で当選した場合に、落選 した 下位希望の科目 に表示されます。

抽選結果 例 ①



抽選結果 例 ②



❺ 定員充足
定員オーバーで抽選となった科目です。
※ このため追加・削除ができません。

❻ 追加ボタン
空きありの授業を追加できます。

Copyright © 2011 Concept Co.,Ltd

M3.REG,REC 9 履修・成績情報 「履修登録」⑨/⑨ エラー画面

履修・成績情報 > 履修登録

❶ 履修登録画面の上部に エラー画面 が表示された場合は、該当科目を削除し、履修可能な科目を再登録してください。

エラー画面 履修時間割表（上部）

エラー画面 履修一覧表（上部）

❶ エラー画面（赤背景）
エラーがある場合は、該当科目を削除し、履修可である他の科目を登録しなおしてください。

❷ 削除ボタン
時間割形式・一覧形式のどちらの画面でも削除できます。
削除ボタンをクリックして、エラー科目を削除します。

Copyright © 2011 Concept Co.,Ltd

M3.REG,REC 10 履修・成績情報 「履修時間割表」

履修・成績情報 > 履修時間割表

履修時間割表 を確認・印刷できます。

履修登録（時間割形式）

履修登録確認表（PDF形式）

❶ 印刷用ページ
クリックすると PDF形式の履修登録確認表 が表示されます。

Copyright © 2011 Concept Co.,Ltd

M3.REG,REC 22 履修・成績情報 「シラバス検索」

履修・成績情報 > シラバス検索

シラバスを検索できます。

シラバス検索

❶ 開講年度・学期
時間割の開講年度、開講学期からシラバスを検索できます。

❷ 開講学部、曜日時限など
以下の項目で検索できます。
① 開講学部、② 学科、③ コース
④ 曜日、⑤ 時限、⑥ 授業コード

❸ 科目分野
科目分野から検索できます。

❹ 科目名・教員名
科目名や教員名で検索できます。
※ 単語の区切りはスペース(空白)をあけてください。

❺ キーワード・全文検索
キーワード等で複数の単語で検索できます。
※ 単語の区切りはスペース(空白)をあけてください。

検索結果

❻ 科目名
科目名をクリックするとシラバスが表示されます。

Copyright © 2011 Concept Co.,Ltd

M6.STU-INFO　1　学籍情報

学籍情報

システムに登録されている 学籍情報 を確認できます。また、保証人・取得予定教員免許状・資格・論文 の情報を 登録 できます。

学籍番号	1307050000
氏名	学生　太郎
フリガナ	ｶﾞｸｾｲ ﾀﾛｳ
英文氏名	Taro GAKUSEI
性別	男
生年月日	1994/07/12
年齢	22
緊急連絡先	緊急連絡先
緊急連絡先電話番号	03-1111-2222
入学年度	2013
学部等	教育学部
学科等	学校教育教員養成課程（小学校教育コース）
コース等	
分属等	
年次	3
入学区分	前期日程
出身高校	DC高校
出身大学	
入学年月日	2013/04/01
現在状況	在学中
国籍名	日本
卒業見込み	○
卒業予定日	2017/03/31
写真	

メッセージの メール転送先 は、ここで登録したメールアドレス となります。

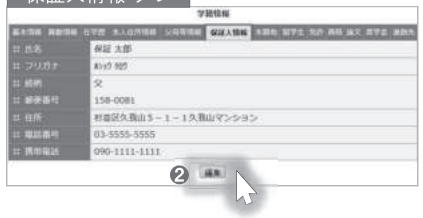
❶ タブメニュー

情報ごとに分類された タブをクリック して切り替えます。分類の種類は以下の通りです。

1. 基本情報
2. 異動情報
3. 在学歴
4. 本人住所情報 & 所属サークル情報
5. 父母等情報
6. 保証人情報
7. 本籍地
8. 留学生
9. 免許（取得予定免許状）
10. 資格
11. 論文
12. 奨学金
13. 進路先
14. 配慮情報

※ 文字色が緑色・・・ 自身で登録・変更できる項目です。
　編集する場合は、「 編集ボタン 」をクリックして内容を変更した後、確定ボタンをクリックして、確定してください。

保証人情報 タブ



保証人情報 タブ

❷ 編集ボタン

編集ボタンをクリックすると、項目の内容を変更できます。

❸ 確定ボタン

確定ボタンをクリックして、変更した内容を確定します。

Copyright © 2011 Concept Co.,Ltd

Moodle サイトへのアクセスとログイン

〔Moodleへの入口〕

「山口大学ホームページ」→「在学生の方」→「教務情報」→「講義支援システム（Moodle）」

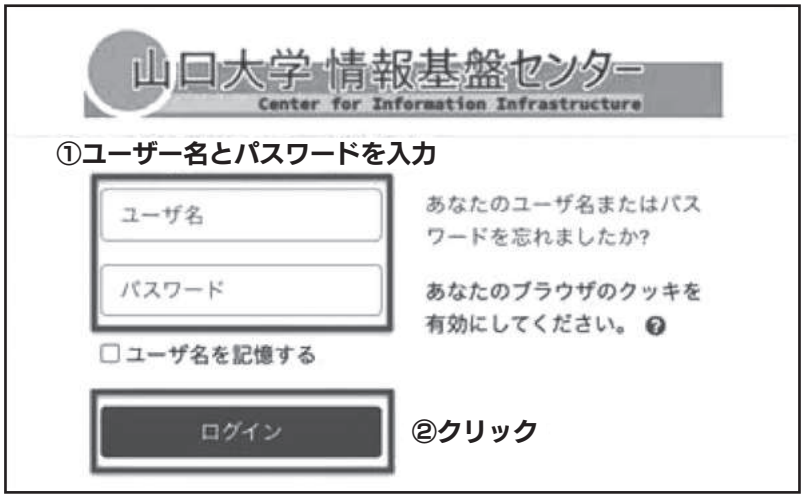
※ログインのためのIDは，入学時に配布する「山口大学教育用計算機利用登録証」内の「E-mail」アドレスの@の前のアカウント（（例）■■■@yamaguchi-u.ac.jpの場合，IDは■■■），初期パスワードは同登録証に記載されているパスワードを使用します。

ログインURL　https://mdcs5.cc.yamaguchi-u.ac.jp/moodle/login/index.php

MoodleのWebサイトに正常に接続されると，ユーザ認証のページが表示されます。

このページやログイン後のページを「お気に入り」や「ブックマーク」に登録しないでください。

大学から発行されたユーザ名とパスワードを入力し，「ログイン」をクリックします。



ログインに成功すると，その科目のコース（Webページ）が表示されます。

学生のGoogleWorkspaceの利用について

山口大学では，GoogleWorkspaceを導入しています。
このGoogle Workspaceでは，Gmail（メール）やCalendar（カレンダー），Chat（チャット），Drive（ファイル保管），Meet（ビデオ会議）などが使用できます。

大学からのメール連絡は，大学が付与したアカウント（〇〇@yamaguchi-u.ac.jp）にされますが，メールの確認はGmailで行うこととなります。

また，共通教育の一部の科目で行われるメディア授業では，Google Meet等のオンラインツールを使った遠隔授業で実施されることがあるかもしれません。

GoogleWorkspaceを利用するにあたっては，入学後に大学からアカウント（〇〇@yamaguchi-u.ac.jp）が付与された後，そのアカウントおよび大学から通知のあったパスワード（変更した場合は変更後のもの）でGoogleにログインし，２段階認証の設定を行う必要があります。

山口大学HPに，GoogleWorkspaceの基本的な使用方法を掲載しておりますので，以下のQRコードより確認してみてください。

学生のGoogle Workspace基本操作等説明ページ（学内限定*）

＊大学内にある専用LANに接続することで確認することができます。

googleはこちら

履　修　一　覧　表

《 前　期 》

	月	火	水	木	金
1・2時限 (8:50～10:20)					
3・4時限 (10:30～12:00)					
5・6時限 (13:00～14:30)					
7・8時限 (14:40～16:10)					
9・10 時限 (16:20～17:50)					
11・12 時限 (18:00～19:30)					

その他					

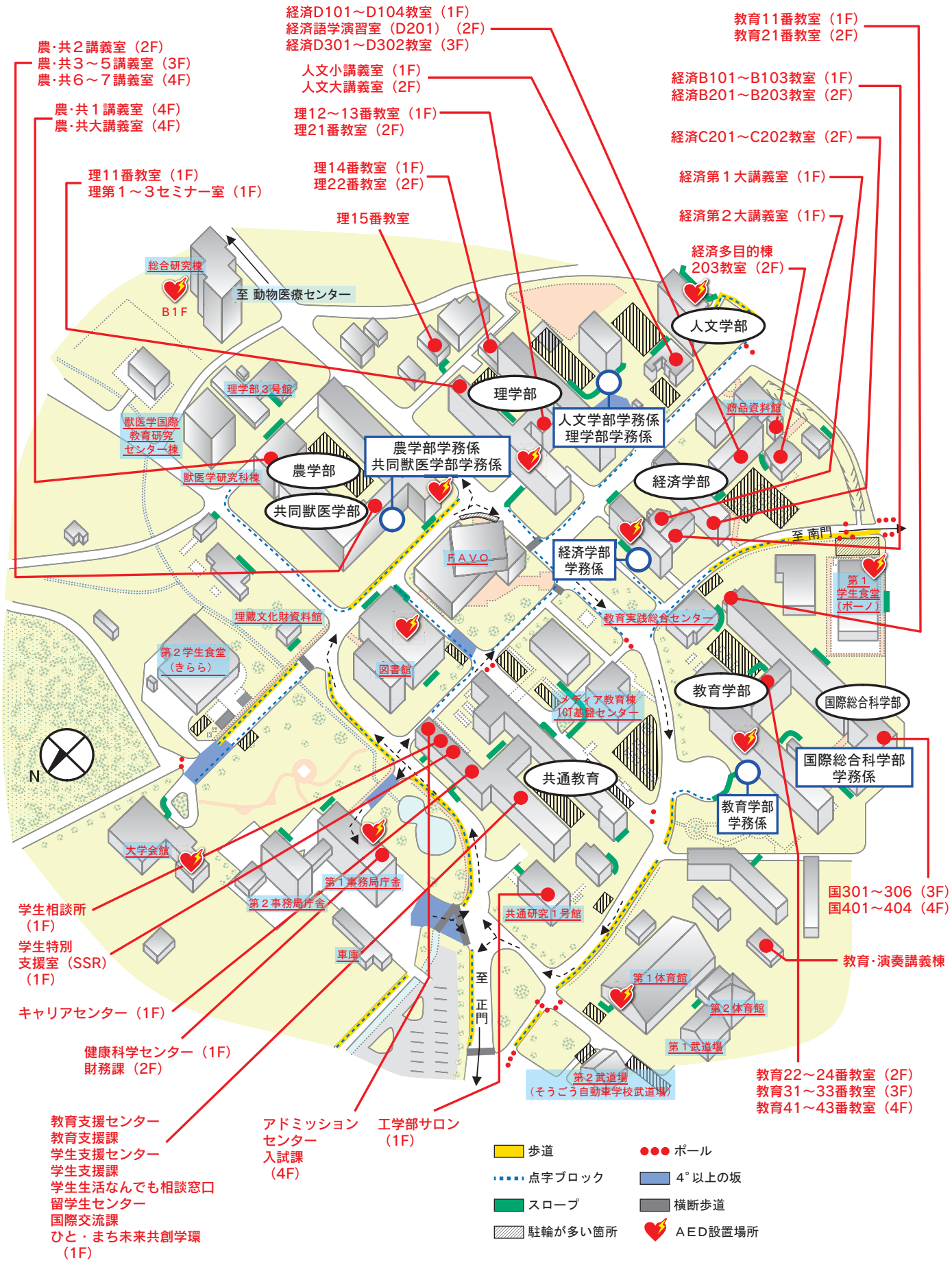
《 後　期 》

	月	火	水	木	金
1・2時限 (8:50～10:20)					
3・4時限 (10:30～12:00)					
5・6時限 (13:00～14:30)					
7・8時限 (14:40～16:10)					
9・10 時限 (16:20～17:50)					
11・12 時限 (18:00～19:30)					

その他					

キリトリ

吉田キャンパス配置図


経済D101～D104教室（1F）
経済語学演習室（D201）（2F）
経済D301～D302教室（3F）
教育11番教室（1F）
教育21番教室（2F）
農・共２講義室（2F）
農・共３～５講義室（3F）
農・共６～７講義室（4F）
人文小講義室（1F）
人文大講義室（2F）
経済B101～B103教室（1F）
経済B201～B203教室（2F）
農・共１講義室（4F）
農・共大講義室（4F）
理12～13番教室（1F）
理21番教室（2F）
経済C201～C202教室（2F）
理11番教室（1F）
理第１～３セミナー室（1F）
理14番教室（1F）
理22番教室（2F）
経済第１大講義室（1F）
理15番教室
経済第２大講義室（1F）
経済多目的棟
203教室（2F）
総合研究棟
B1F
至 動物医療センター
人文学部
理学部
理学部３号館
人文学部学務係
理学部学務係
商品資料館
獣医学国際
教育研究
センター棟
農学部学務係
共同獣医学部学務係
農学部
獣医学研究科棟
共同獣医学部
経済学部
至 南門
FAVO
経済学部
学務係
第１
学生食堂
（ボーノ）
埋蔵文化財資料館
教育実践総合センター
第２学生食堂
（きらら）
図書館
教育学部
国際総合科学部
メディア教育棟
ICT基盤センター
国際総合科学部
学務係
N
共通教育
教育学部
学務係
大学会館
第１事務局庁舎
第２事務局庁舎
国301～306（3F）
国401～404（4F）
学生相談所
（1F）
共通研究１号館
学生特別
支援室（SSR）
（1F）
車庫
教育・演奏講義棟
至
正
門
第１体育館
第２体育館
キャリアセンター（1F）
第１武道場
健康科学センター（1F）
財務課（2F）
第２武道場
（そうごう自動車学校武道場）
教育22～24番教室（2F）
教育31～33番教室（3F）
教育41～43番教室（4F）
教育支援センター
教育支援課
学生支援センター
学生支援課
学生生活なんでも相談窓口
留学生センター
国際交流課
ひと・まち未来共創学環
（1F）
アドミッション
センター
入試課
（4F）
工学部サロン
（1F）
歩道
ポール
点字ブロック
4°以上の坂
スロープ
横断歩道
駐輪が多い箇所
ＡＥＤ設置場所

YAMAGUCHI UNIVERSITY
山口大学

学　　部	
学科・課程	
学 籍 番 号	
氏　　名	

2025（令和7）年度
共　通　教　育　履　修　案　内
［1年次の学生用］

編集発行：山口大学教育支援センター
〒753-8511　山口市吉田 1677-1

［お問い合せ先］
山口大学学生支援部教育支援課教務係
TEL：083-933-5050
Email：ga133@yamaguchi-u.ac.jp